

ラック形音響装置

WL-7100
品番 WL-7600

工事説明書

- 基本システム編
- 応用システム編(別冊)

★工事の前に取扱説明書およびこの説明書(基本システム編)と応用システム編(別冊)をよくお読みください。

	設置工事の前に	3~7	■
	工事の手順	8	■
基本システム編	標準システムの概要	9	■
	ラックの設置	10~11	■
	ユニット収納前の準備	12~16	■
	ユニットの収納	17~19	■
	優先順位について	20	■
	ラック内配線のしかた	21~33	■
	外部配線のしかた	34~37	■
	接続点検と調整	38~39	■
	定格・付属品	裏表紙	■

目次

安全上のご注意	1
設置工事の前に	3
■納入システムを再確認してください	3
■構成	3
■機器一覧	4
■工事部品一覧	6
工事の手順	8




基本システム編

標準システムの概要	9
ラックの設置	10
■外観寸法図	10
■ラックの固定	11
ユニット収納前の準備	12
■ミキサーユニットWU-M60A	12
■スピーカ選択ユニットWK-420、WK-430(増設用)の スピーカ回線の最大容量・系統の分けかた	15
ユニットの収納	17
■各ユニットの収納位置	17
■ユニットの取り付け	18
■サービスユニットの使いかた	18
■マイクロホンWU-Z19の取り付けかた	19
優先順位について	20
■標準システムの優先順位について	20
ラック内配線のしかた	21
■配線の前に	21
■AC電源配線	21
■標準システムでの接続	22
■スピーカ選択ユニットWK-420の接続のしかた	23
■電源制御ユニットWU-L62の接続のしかた	24
■モニタユニットWU-M20の接続のしかた	24
■電力増幅ユニットWU-P51/P52/P53の接続のしかた	25
■ミキサーユニットWU-M60Aの接続のしかた	26
■電力増幅ユニットを増設するときの接続のしかた	29
■電源制御ユニットWU-L62を増設する場合	31
■増設用スピーカ選択ユニットWK-430の接続のしかた	32
外部配線のしかた	34
■通線のしかた	34
■端子台名称の記入方法	34
■端子の配列	35
■スピーカ出力端子の接続	36
■一斉外部制御の接続	37
接続点検と調整	38
■動作確認	38
■ミキサーユニットWU-M60Aの調整	39
定格・付属品	裏表紙

安全上のご注意



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

危険

蓄電池に強い衝撃を与えない



禁止

ハンマーなどでたたいたり、釘などを打ち込まないでください。発火・破裂の原因となります。

蓄電池を分解しない



分解禁止

電池内部の液が飛び出し、目に入ると失明の原因となります。

蓄電池の⊕ ⊖ 端子をショートさせない。



禁止

発熱・発火の原因となります。

蓄電池を火の中に入れない



禁止

火気にも近づけないでください。発火・破裂の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と
経験が必要です。
火災、感電、け
が、器物損壊の
原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

分解しない、 改造しない



火災や感電の原
因となります。

分解禁止

- 修理や点検は販売店にご連絡
ください。

異物を入れない



水や金属が内部
に入ると、火災
や感電の原因と
なります。

禁止

- ただちに分電盤の電源を切っ
て、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがす
る、水や異物が入っ
た、落として破損し
たなど、火災の原因
となります。

- ただちに分電盤の電源を切っ
て、販売店にご連絡ください。

重量に耐える 取り付けをする



取付の場所や方法
が不適切な場合、
落下（や転倒）な
どでけがの原因と
なります。

- 販売店に依頼してください。

決められたヒューズ を使う。



規定以外のヒュー
ズを使うと、火災
の原因となります。

電源コードを熱器具およ び発熱物に近づけない。



コードの被覆が
溶けて、火災や
感電の原因とな
ります。

禁止

電源コードは、必ず プラグ本体を持って抜く



コードが傷つき、
火災や感電の原
因となります。

- 抜くときは電源プラグを持っ
て抜いてください。

濡れた手で電源プラグ を抜き差ししない



感電の原因とな
ります。

禁止

電源コードを 傷つけない



重いものをのせたり、
はさんだりすると
コードが傷つき、
火災や感電の原
因となります。

禁止

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 注意

蓄電池の交換は、販売店
か保守契約店に依頼する



感電の原因となり
ます。

設置工事の前に

■納入システムを再確認してください

システム設計書、承認図などを今一度読み返し、システム全体を理解するとともに、ユニット、工事部品に欠品がないか確認してください。

- スピーカ選択ユニット、増設用スピーカ選択ユニット合計8台まで。(BGM放送モード時16台まで)
- リモコンリレーユニット、BGM放送モード選択ユニット合計8台まで。(BGM放送モード時16台まで)
- 電力増幅ユニットワット数(電力増幅ユニット数、電源制御ユニット数、非常電源ユニット数、蓄電池数)
- スピーカ回線数(増設用スピーカ選択ユニット数、リモコンリレーユニット数、回線保護ヒューズ)
- リモコンマイク(5局、10局)を使用するか?(リモコンリレーユニット必要)
- 外部制御または、まとめ放送をするか?(リモコンリレーユニット、ダイオードマトリクスボード必要)
- 全ユニットがラックに収納できるか?(収納できなければ、スタンダードラック、またはロングラックが必要)
- 消費電力と発熱(電力増幅ユニット720W以上はファンユニットが必要)

■構成



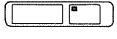

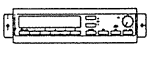

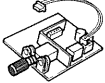



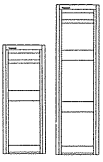
品名	品番	スタンダードラック	ロングラック
		WL-7100	WL-7600
スタンダードラック		1	—
ロングラック		—	1
スピーカ選択ユニット	WK-420 (1U)	1	1
ミキサーユニット	WU-M60A (2U)	1	1
電源制御ユニット	WU-L62 (1U)	1	1
モニタユニット	WU-M20 (2U)	1	1
端子盤ユニット	WU-Q55 (3U)	1	1
サービスユニット	(2U)	1	1
1U ブランクパネル		1	1
2U		2	2
3U			1
残りユニット収納数	1U=44.45mm	17U	26U

設置工事の前に

■機器一覧

品名	品番	外観	高さ (1U=44、45)	AC100V 消費電流	DC24V 消費電流	概要
ラック形音響装置	WL-7100 WL-7600	10ページ				
スピーカ選択 ユニット	WK-420		1U	—	150mA	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカ選択スイッチ10 ・スピーカ1回線当り50Wまで ・一斉外部制御が可能です。
ミキサー ユニット	WU-M60A		2U	5W(注)	100mA	<ul style="list-style-type: none"> ・マイク、チャイム、リモコン、ラジオなどの優先順位を制御するユニットです。
モニタ ユニット	WU-M20		2U	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・4系統の出力をモニタできます。
電源制御 ユニット	WU-L62		1U	(注) 140W (DC3.6A 出力時)	—	<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニットのDC24V電源を供給するとともに、外部より電源入切制御ができます。
端子盤ユニット	WU-Q55		3U	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカ回線、リモコンマイクなどを接続する端子台です。 ・端子数は60端子です。
サービス ユニット	—		2U	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニットや収納機器をラックに組み込んだり、引き出して点検を行うときに使用します。 ・ブランクパネル(2U)の裏に収納します。
増設用 スピーカ選択ユニット	WK-430		1U	—	120mA	<ul style="list-style-type: none"> ・10局単位で増設するユニットです。 ・最大80局まで増設できます。
リモコン リレーユニット	WU-R31		1U	—	200mA	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカ回線10回線。 ・スピーカ1回線当り200Wまで。 ・リモコンマイク(WR-110、105)を使用するときに必要です。 ・最大80回線まで増設できます。
ダイオード マトリクスボード	WU-Z50		—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・外部制御およびまとめ放送時に必要です。 ・スピーカ選択ユニットWK-420、430(増設用)1台に1枚組み込んで使用します。 ・最大8枚まで増設できます。 ・ダイオード50本付属。
BGM放送モード 選択ユニット	WU-R35		1U	—	260mA	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカ選択ユニットWK-420、430(増設用)と接続し、別の電力増幅ユニットからのBGM放送を行います。 ・スピーカ回線10回線。 ・スピーカ1回線当り200Wまで。 ・最大80回線まで増設することができます。
電力増幅ユニット	WU-P51(60W)		2U	60W (注)	1/8出力時 1.8A	<ul style="list-style-type: none"> ・AC/DC兼用の電力増幅ユニットです。
	WU-P52(120W)			115W (注)	1/8出力時 3.5A	
	WU-P53(360W)		3U	310W (注)	1/8出力時 9.7A	

■機器一覧

品名	品番	外観	高さ (1U= 44、45)	AC100V 消費電流	DC24V 消費電流	概要
ファンユニット	WU-L45A		—	24W	—	<ul style="list-style-type: none"> ラック内の電力増幅ユニットの合計定格出力が720Wを越える場合、ラック最上段に取り付けます。
非常電源ユニット	WP-570B		2U	24W (注)	—	<ul style="list-style-type: none"> 停電時に放送を行うときに必要です。 ニカド蓄電池(別売)を内部に収納して使用します。
ニカド蓄電池	NCB-350 NCB-600		—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 480W用…NCB-600×2 240W用…NCB-600×1 120W用…NCB-350×1 WP-570B内に組み込みます。  Ni-Cd
ラジオチューナユニット	WU-T60		—	—	120mA	<ul style="list-style-type: none"> AM/FM用のラジオチューナユニットです。 ミキサーユニットWU-M60Aに組み込んで使用します。
マイクロホン	WU-Z19		—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> スピーカ選択ユニットWK-420、430(増設用)からのマイク放送を行うときに必要です。
コールサインユニット	WU-Z05		—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ミキサーユニットWU-M60Aに組み込んで使用します。 リモコンマイクを使用したシステムでは必ず必要です。
リモコンマイク	WR-101 (単局用)		—	—	43mA	<ul style="list-style-type: none"> 単局/5局/10局のリモコンマイクです。 合計で最大4台まで接続可能です。 別売金具により壁取り付けが可能です。(WR-105、110) ミキサーユニット(WU-M60A)にコールサインユニット(WU-Z05)を組み込んでください。(組み込まないとコールサインがありません)
	WR-105 (5局用)		—	—	25mA	
	WR-110 (10局用)		—	—		
ラック	WU-RS71 (スタンダード)		—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> 業務用音響機器、電力増幅ユニットなどを収納するラックです。 ユニット収納寸法 スタンダードラック……29U(サービスユニット) ロングラック……………41U(2U含む) (1U=44.45mm)
	WU-RL76 (ロング)		—	—	—	

(注) この表示は、電気用品取締法の技術基準に基づくものです。

設置工事の前に

■工事部品一覧

部 品 名	品 番	備 考	
スピーカ回線保護ヒューズ (50本組) ・WU-R31/R35で使用するスピーカ回線保護ヒューズです。 ・出荷時は、全回線に、315mAが入っています。 ・1回線当りの出力によって、交換が必要です。	WK-F05A(500mA) WK-F10A(1A) WK-F20A(2A) WK-F30A(3A)	1回線あたりの最大出力 35W 電力増幅ユニット 60W以上 // 70W // 120W以上 // 140W // 360W以上 // 200W // 480W以上	
ブランクパネルIU 2U 3U	W2-BPA/44 W2-BPA/88 W2-BPA/132	ユニット収納後の空きスペースにはめるパネルです。	
パンチングパネルIU // 2U	W2-PPA/44 W2-PPA/88	放熱効果を得たい場合に使うパネルです。	
IUユニットパネル	W2-BPA/44NS	増設用スピーカ選択ユニットWK-430の前面スイッチが不要の場合使用します。	
増設用PA入力ケーブル	W3-4L/04PR	リモコンリレーユニットWU-R31のPA入力を追加する場合に必要です。	
DC2ピンケーブル(3m)	W4-2L/3PR	1台の非常電源ユニットWP-570Bから、4台の電力増幅ユニットにDC電源を供給する場合、必要です。	
PA出力用ケーブル (4ピン 2.5m)	W4-4L/25PR	スピーカ選択ユニットWK-420 増設用スピーカ選択ユニットWK-430 リモコンリレーユニットWU-R31 BGM放送モード選択ユニットWU-R35	↔ 電力増幅ユニット
PWR CONTケーブル (9ピン 2.1m)	W4-9L/21PR	スピーカ選択ユニットWK-420 電源制御ユニットWU-L62	↔ ミキサーユニット WU-M60A
BATT CONTケーブル (9ピン 2.1m)	W4-12L/21PR	スピーカ選択ユニットWK-420 非常電源ユニットWP-570B	↔ 非常電源ユニット WP-570B
14芯 14ピンケーブル	W4-14L/21RR	スピーカ選択ユニットWK-420、 増設用スピーカ選択ユニットWK-430、 リモコンリレーユニットWU-R31、 BGM放送モード選択ユニットWU-R35各ユニット間の接続	
14芯 14ピンケーブル	W4-14L/21PR	14芯 14ピンケーブル W4-14L/21RRの延長用ケーブル	
14芯 14、16ピンケーブル	W4-1416/21RR	スピーカ選択ユニットWK-420 増設用スピーカ選択ユニットWK-430 リモコンリレーユニットWU-R31 BGM放送モード選択ユニットWU-R35	↔ 端子盤ユニット WU-Q55
リモコンマイク取付金具	WR-Q01	一般リモコンマイクWR-105、110を壁掛型で使用する場合に必要です。	
2芯シールド線(1.6m)	YWL6655-SR01A	複式プラグ付音声入出力用(サービス部品扱) 注) 短い場合は現地作成願います。	
4芯 4ピンケーブル	YWL6100SR01	電力増幅ユニット↔モニタユニットWU-M20 (サービス部品扱)	
9芯 9ピンケーブル (MIX CONTケーブル)	YWL6655SR03	スピーカ選択ユニットWK-420↔ミキサーユニットWU-60A (サービス部品扱)	

部 品 名	品 番	備 考
平衡入力トランス	YWIT-1106	ミキサーユニットWU-M60Aの入力を平衡にする場合に必要です。
複式プラグ	YKV110431A	1.6 m以上の音声入出力線を現地作成する場合に必要です。 注) 2芯シールド線は現地調達願います。
単頭プラグ	YKV110433	音声入力線を現地作成する場合に必要です。 (サービス部品扱) 注) シールド線は現地調達願います。
RCAプラグ	YTWPP001PLUG	音声入力線を現地作成する場合に必要です。 (サービス部品扱) 注) シールド線は現地調達願います。
ファクトライン用抜け止め コンセプトプラグ	DH2671 (松下電工株扱)	ファクトラインに取り付けるACコンセントです。 注) 電力増幅ユニットの電源は接続しないでください。 ファクトラインの電流容量は15Aです。
ダイオード	YWAM01Z	ダイオードマトリクスボード設定用のダイオードです。

●付属ケーブル一覧

品 番	WL-7100 7600	WK-420	WK-430	WU-Z50	WU-R31	WU-R35	WU-Q55
14芯 14P-14Pケーブル	0	3	1	1	2	2	0
14芯 14P-16Pケーブル	0	1	1	1	1	1	0

●14芯ケーブル(W4-14L/21RR、W4-1416/21RR)使用本数一覧

ユニットを増設するときは、14芯ケーブルを下記を参考に、手配してください。

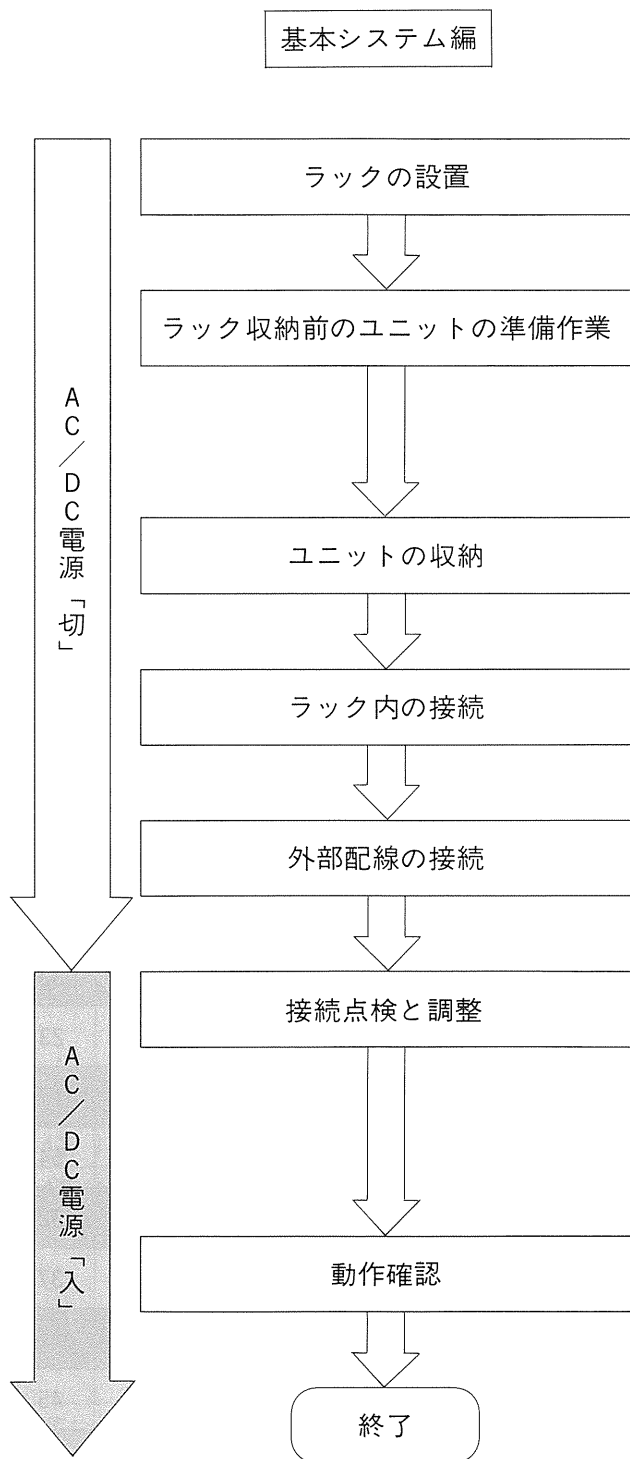
局		数	10局	20局	30局	40局	50局	60局	70局	80局
WU-R31を 使用しないシステム (標準システム)	BGM 放送モード 無	14P-14P ケーブル	0	1	2	3	4	5	6	7
		14P-16P ケーブル	2	3	4	5	6	7	8	9
	BGM 放送モード 有 (注1)	14P-14P ケーブル	3	8	13	18	23	28	33	38
		14P-16P ケーブル	5	9	13	17	21	25	29	33
WU-R31を 使用するシステム (リモコンマイクWR-110) などを接続	BGM 放送モード 無	14P-14P ケーブル	2	5	8	11	14	17	20	23
		14P-16P ケーブル	3	5	7	9	11	13	15	17
	BGM 放送モード 有 (注1)	14P-14P ケーブル	5	12	19	26	33	40	47	54
		14P-16P ケーブル	4	8	12	16	20	24	28	32
WU-Z50を 使用するシステム (まとめ放送・ 外部制御など) (注2)	BGM 放送モード 無	14P-14P ケーブル	2	7	12	17	22	27	32	37
		14P-16P ケーブル	4	5	6	7	8	9	10	11
	BGM 放送モード 有 (注1)	14P-14P ケーブル	3	9	15	21	27	33	39	45
		14P-16P ケーブル	7	10	13	16	19	22	25	28

(注1) BGM放送モード時のケーブルの本数はすべてのスピーカ回線をBGM放送モードにした場合です。

(注2) ダイオードマトリクスボードを増設してスピーカ回線を増設した場合です。起動入力を増設する場合の使用本数は、ダイオードマトリクスボードを1枚増設するごとに、14P-14Pケーブルを3本追加してください。

工事の手順

- 基本システム編は、ラック形音響装置としての基本的なシステムの工事手順を説明しています。
- 応用システム編(別冊)は機能編とユニット編に分かれています。応用システムの機能については機能編を、接続のしかたなどの工事の説明については基本システム編とユニット編を中心にお読みください。



応用システム編 (別冊)

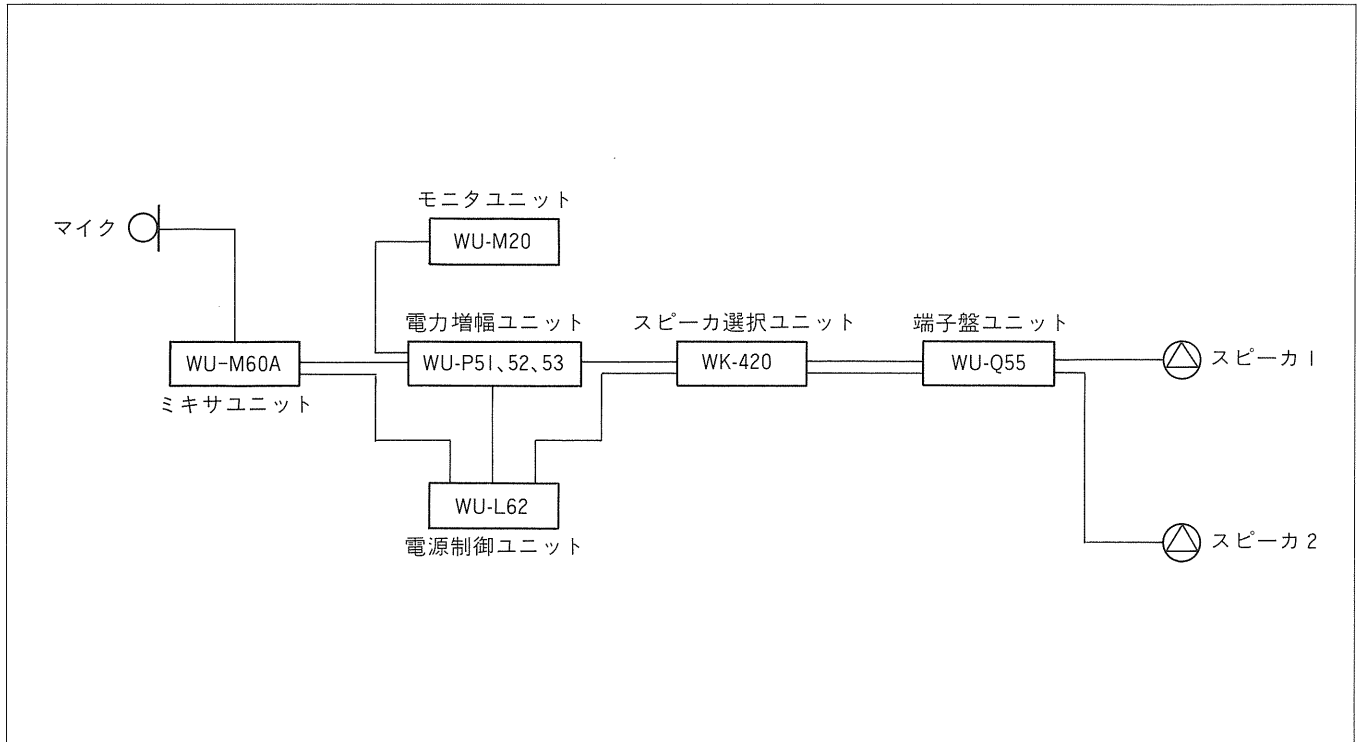
応用システム機能編

- 非常放送設備との接続
- 停電時の放送
- 放送の優先順位
- スピーカ回線が50Wを越えるとき
- リモコンマイク
- 外部制御
- WK-430でのまとめ放送
- BGM放送モード

応用システムユニット編

- 非常電源ユニット WP-570B
- スピーカ選択ユニット WK-420
WK-430(増設用)
- リモコンリレーユニット WU-R31
- ダイオードマトリクスボード
WU-Z50
- BGM放送モード選択ユニット
WU-R35
- 端子盤ユニット WU-Q55

標準システムの概要

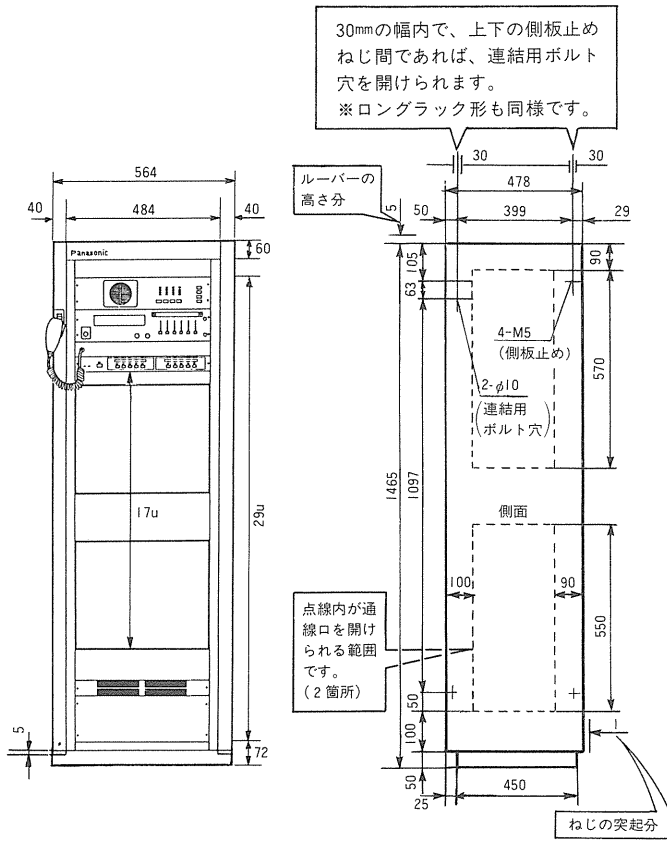


- 上記系統図はWL-7100/7600に電力増幅ユニット、マイクロホン WU-Z19を追加したものです。
(これを標準システムとします。)
- 増設用スピーカ選択ユニットWK-430を追加することにより、スピーカ回線を最大80回線まで増設することができます。
- 一斉外部制御により一斉放送[アッテネータ(音量調整器)が「OFF」のときでも放送されます。ただし3線式の場合]を行うことができます。
- リモコンマイク(単局)WR-101を接続することができます。
- スピーカ1回線当りの容量は50Wまでです。

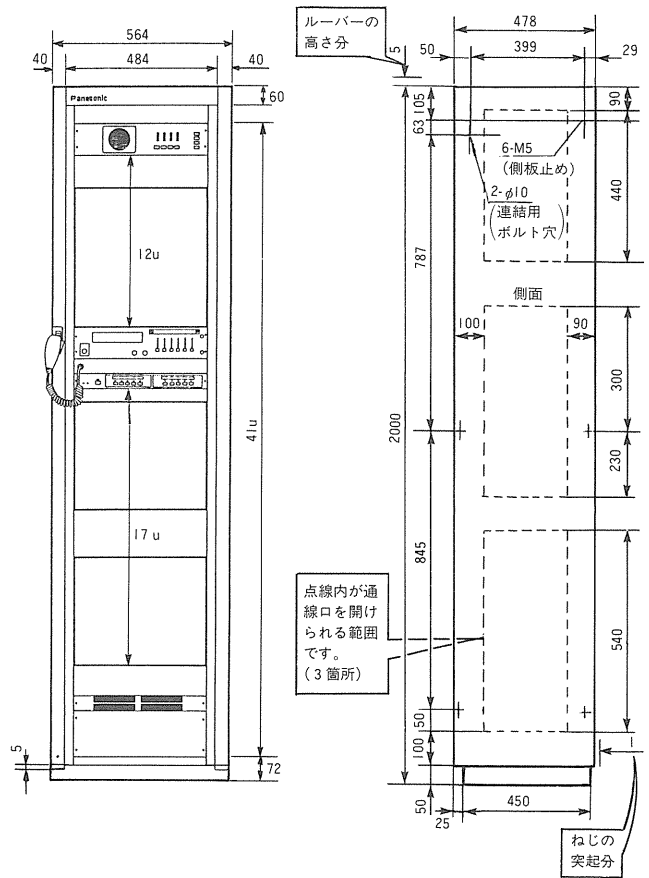
ラックの設置

■外観寸法図

WL-7100
スタンダードラック

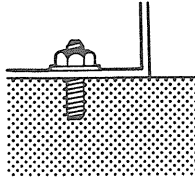


WL-7600
ロングラック

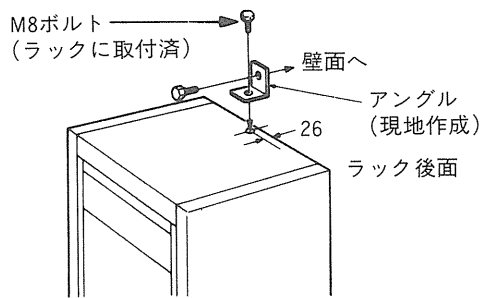


■ラックの固定

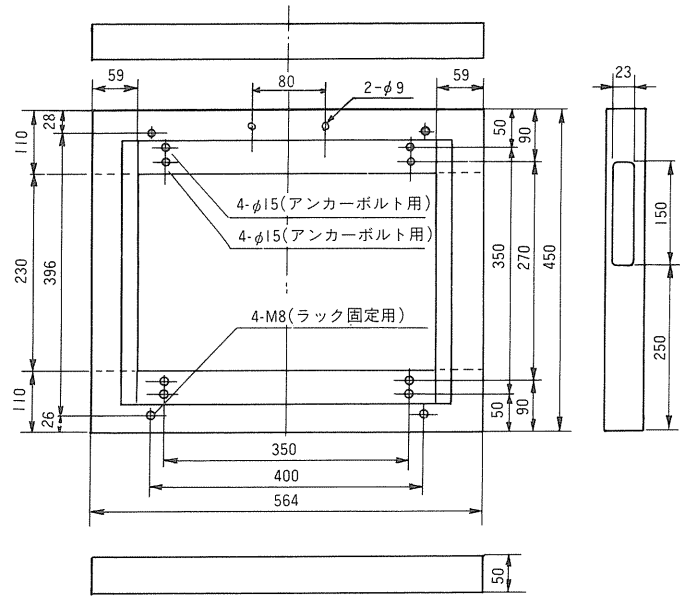
- ラックは、組み込むユニットにより300kg近くの重量になることがあります。
必ず床面をアンカーボルト(φ10程度)などで固定してください。



- さらにラック上面もアングル(現地手配)で固定してください。アングルの材質、形状および壁面などの固定面への取付ねじについては、強度的に十分余裕のあるものをご使用ください。

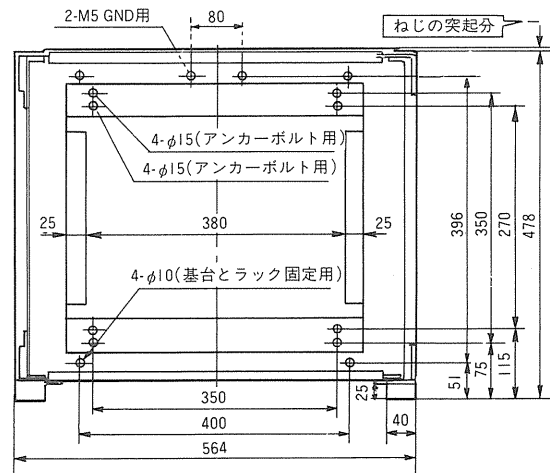


基台(チャンネルベース)図



前面側

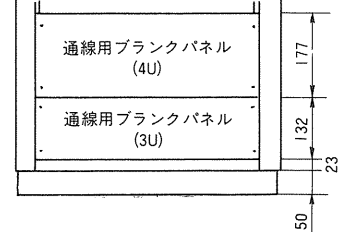
基台にラックを付けた図



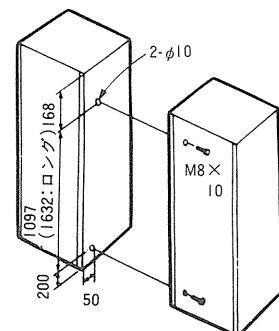
前面側

ラックの通線をラック後面下部より行なう場合は、ラック後面と壁面との間を10cm以上あけてください。

後面通線孔寸法図



- ラックを2台以上並べて設置する場合
ラックの両側面に連絡用ボルト穴が上下2カ所あります。ラックを床に仮固定した後、ねじ穴のキャップをはずし、M8×10程度のボルトとナットで固定してください。



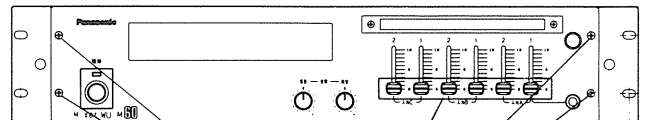
ユニット収納前の準備

■ミキサーユニット WU-M60A

- ①ラジオチューナWU-T60(別売品)の組み込みかた 12ページ
- ②コールサインユニットWU-Z05(別売品)の組み込みかた 13ページ
- ③平衡入力に変更するとき 14ページ

①ラジオチューナユニットWU-T60の組み込みかた

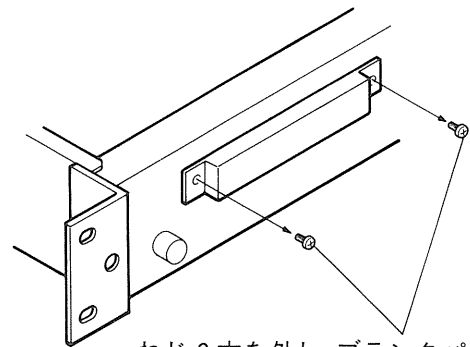
1. 音量つまみを取り外したのち(①)、前面パネルを外します(②)。



①つまみ 6 個を外す

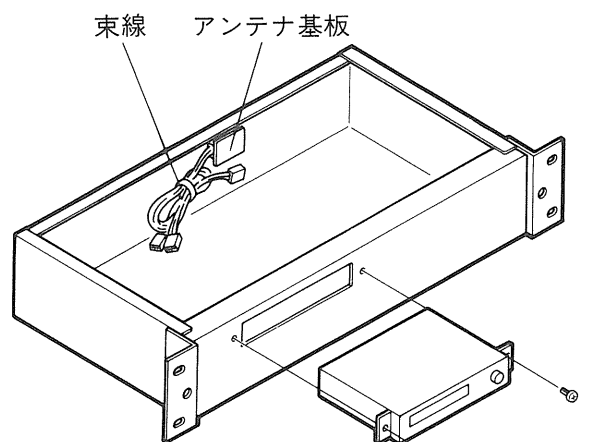
②ねじ 4 本を外し、パネルを外す

2. シャシーに付いているブランクパネルを外します。



ねじ 2 本を外し、ブランクパネルを外す

3. ラジオチューナユニットを前面側から挿入し、ねじ止めします。

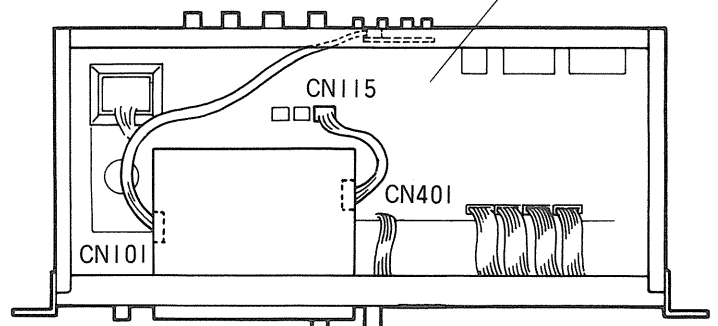


ミキサー基板

4. アンテナ基板に接続されているチューナ接続コードの束線をニッパなどで取り外します。

- ・アンテナ基板のコネクタCN701をラジオチューナユニットのCN101に接続します。
- ・コネクタコードの4ピン側をミキサー基板CN115に接続し、6ピン側をラジオチューナユニットのCN401に接続します。

5. 前面パネルを取り付け、音量つまみをもとどおり差し込みます。



●チューナユニットの入力設定

- WK-420、WK-430の優先順位に応じて、チューナユニットの入力を変更してください。
- 工場出荷時は入力C(CN123)に設定されています。

①入力Aに設定する場合

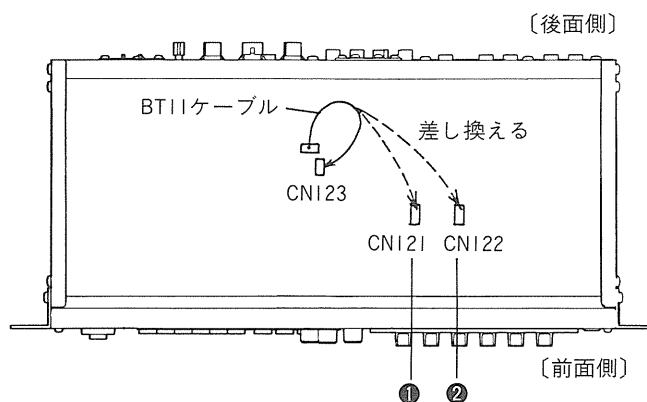
BT11ケーブルを差し換えます。

CN123“TUNER IN C”⇒CN121“TUNER IN A”

②入力Bに設定する場合

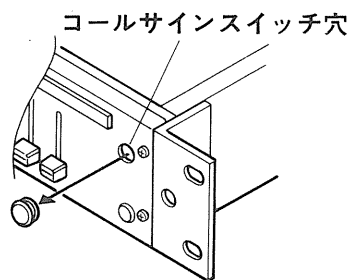
BT11ケーブルを差し換えます。

CN123“TUNER IN C”⇒CN122“TUNER IN B”

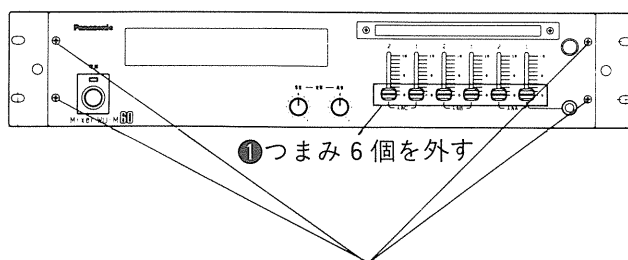


②コールサインユニット WU-Z05の組み込みかた

1. 前面パネルのコールサインスイッチ穴のゴムキャップを外します。



2. 音量つまみを取り外したのち①、前面パネルを外します②。

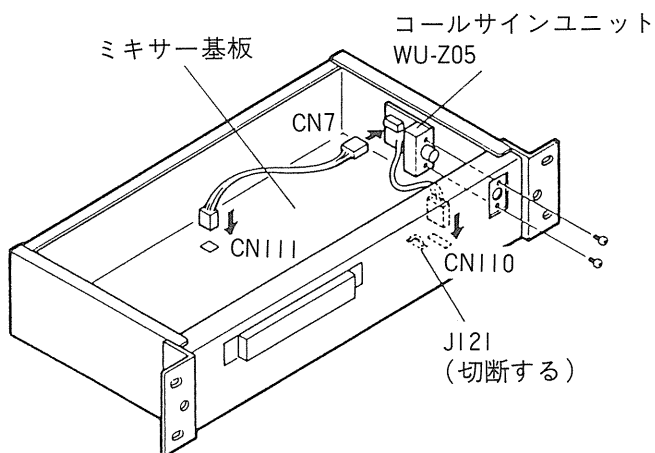


3. コールサインユニットをシャーシ内側から挿入し、前面よりねじ止めします。

②ねじ4本を外し、パネルを外す

4. コールサインユニットからの4Pコネクタをミキサー基板のCN110に接続します。

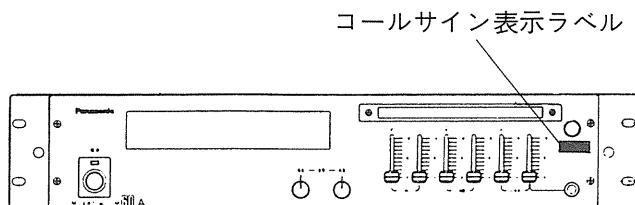
5. 付属の2芯接続ケーブルをコールサインユニットのコネクタCN7に接続し、一方をミキサー基板のCN111に接続します。(付属のコードクランプで他の線材と固定します。)



6. ミキサー基板のジャンパ線J121をニッパなどで切断します。

7. 前面パネルを取り付け、音量つまみをもとどおり差し込みます。

8. コールサイン表示ラベルを前面パネルのコールサインスイッチ孔の下に貼り付けてください。



ユニット収納前の準備

③平衡入力に変更するとき

①入力C1、2、3、4をトランス入力にする場合

ジャンパー線を2本カットして、入力トランスYWIT-1106 (別売品)を取り付けます。

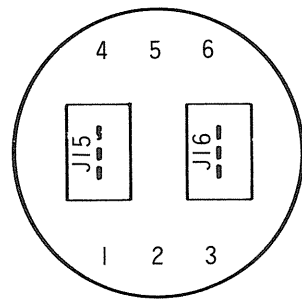
(トランス下部の底板は外してはんだ付けします。)

入力C1：J9、10→102

入力C2：J11、12→107

入力C3：J13、14→108

入力C4：J15、16→109



②入力1、2、B1、2をトランス入力にする場合

抵抗2本をカットして、入力トランスYWIT-1106 (別売品)を取り付けます。

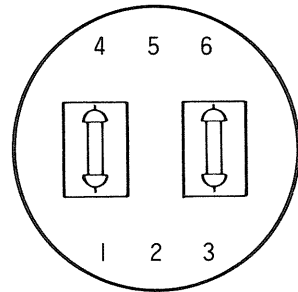
(トランス下部の底板は外してはんだ付けします。)

入力A1：R296、R297→T103

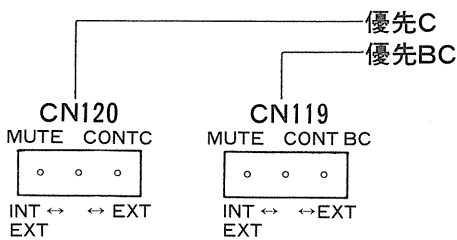
入力A2：R293、R250→T104

入力B1：R247、R248→T105

入力B2：R311、R310→T106



④優先順位の設定方法を変更するとき (CN119, CN120)

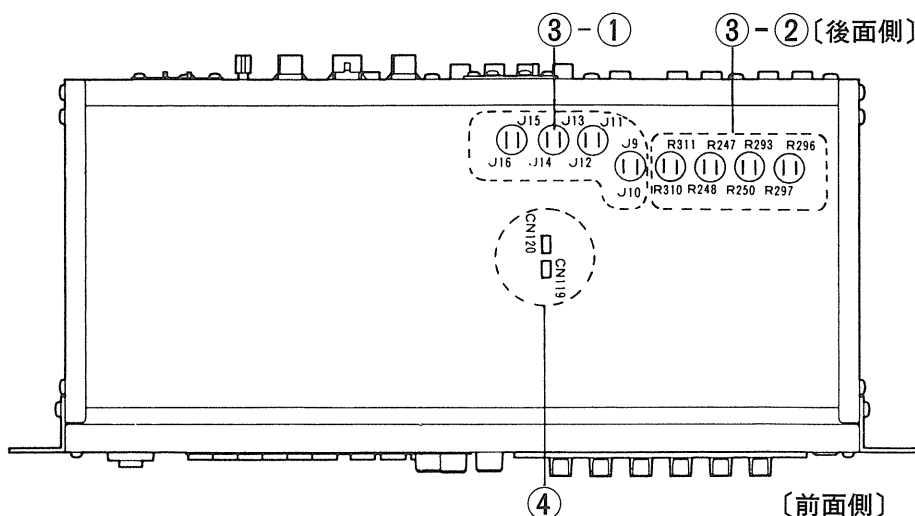


・EXT側 (◻) : 外部制御(MIX CONT)からのみ制御させる場合

・INT側 (◻) : 音声入力と外部制御(MIX CONT)両方で制御させる場合

※工場出荷時は EXT側

⑤内部ジャンパーコネクタのレイアウト図

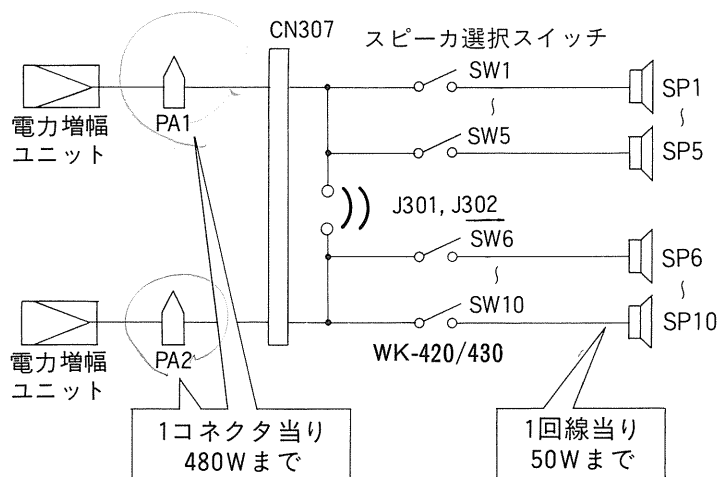


■スピーカー選択ユニットWK-420、WK-430(増設用)の スピーカー回線の最大容量・系統の分けかた

●スピーカー回線の最大容量

スピーカー1回線当りの最大容量は、50Wまでです。

最大容量を越えてしまう場合には、リモコンリレーユニットWU-R31(別売品)を使用するか、スピーカー回線を2系統に増やすなどの対策が必要です。☞応用システム編(別冊)「スピーカー回線の容量が50Wを越えるとき」を参照。



●スピーカー回線の系統の分けかた

PA入力はユニット内で並列に接続されているために、以下の場合には、内部ジャンパを切断する必要があります。

- ①電力増幅ユニットの並列接続可能台数を越えてしまうとき
- ②異なる放送を同時に行うとき

①電力増幅ユニットの並列接続可能台数を越えるとき

電力増幅ユニットの並列接続台数が右表の並列接続可能台数を越えてしまうときは、基板上的ジャンパ線を切断してください。

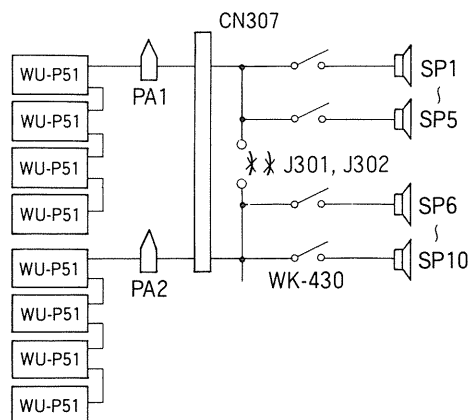
電力増幅 ユニット	増設可能 な台数
WU-P51 WU-P52 の組み合わせ	4
WU-P53 を含む 組み合わせ	3

お願い

電力増幅ユニットの並列接続は、スピーカー選択ユニットWK-420、WK-430(増設用)のPA入力の容量(コネクタ1ヶ当り480W)を越えないようにしてください。

並列接続したときにジャンパ線を切断する例

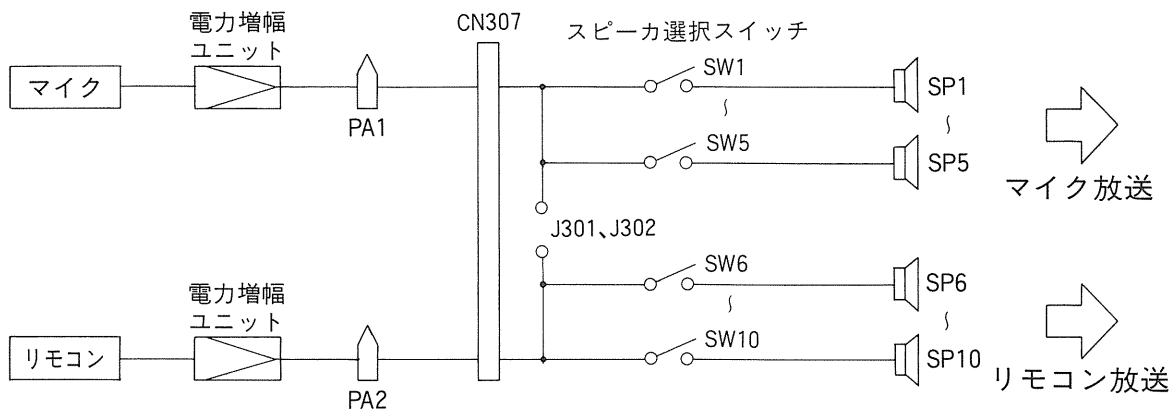
本機を使用し、PA1とPA2に並列接続された4台のWU-P51をそれぞれ入力した場合、WU-P51が8台並列接続されたことになってしまいます。そのためジャンパ線のカットが必要となります。



ユニット収納前の準備

②異なる放送を同時に行うとき

内部ジャンパを切断することにより、各PA入力に分かれるためスピーカ回線5回線単位で異なった放送を同時に行うことができます。

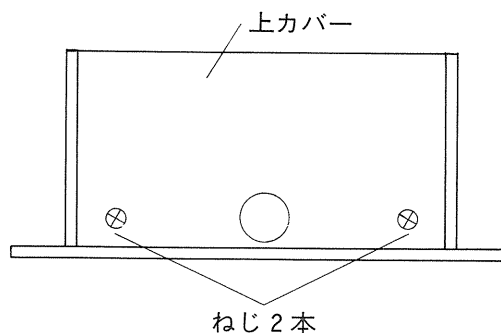


お願い

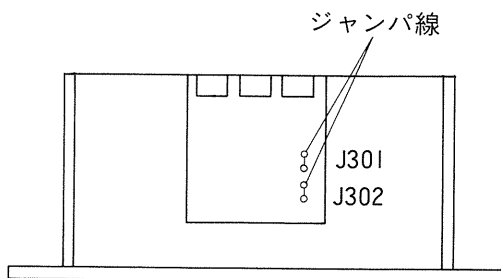
- リモコンリレーユニットWU-R31(別売品)、BGM放送モード選択ユニットWU-R35(別売品)を制御する場合は、内部ジャンパは切断しないでください。

●ジャンパ線の切断のしかた

- ①上カバーのねじ2本を外し、上カバーを取り外します。



- ②基板のジャンパ線 (J301、J302) をニッパなどで切断します。



- ③上カバーを取り付けます。

ユニットの収納

■各ユニットの収納位置

1. 電源制御ユニット

放熱効果を上げるため、上にサービスユニットを置くか、上1Uを必ずあけて設置してください。

2. 非常電源ユニット

できるだけ下部に設置してください。

発熱するユニット（電源制御ユニット・電力増幅ユニット）の直上には絶対に取り付けしないでください。

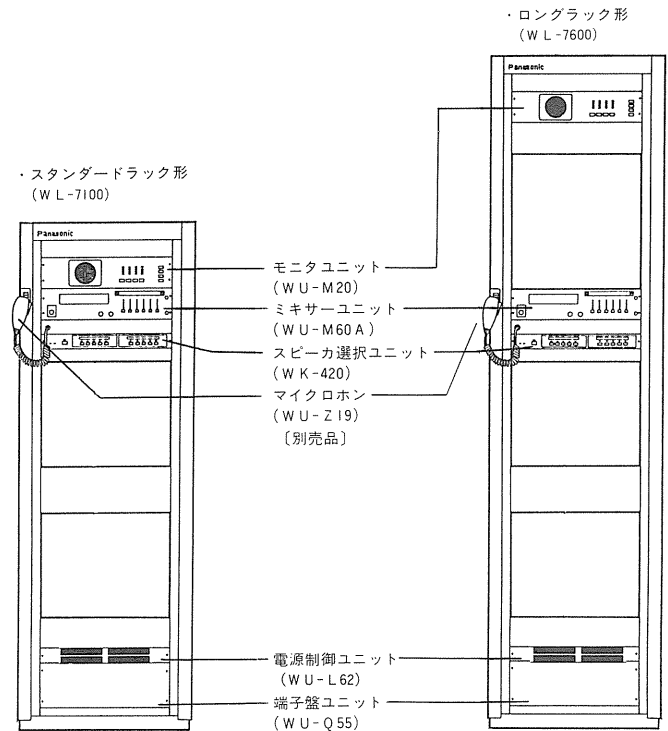
3. 電力増幅ユニット

- 放熱効果を上げるため、できるだけラックの上部に設置してください。
- 電力増幅ユニットの上にはBGM演奏装置やワイヤレス受信機などの業務用放送機器および非常電源ユニットは、絶対に収納しないでください。
- ミキサーユニット WU-M60A でレコードプレーヤを使用するときは、電力増幅ユニットとの間隔(上下)をあけて設置してください。

電力増幅ユニット	WU-P51	WU-P52	WU-P53
ミキサーとの間隔	0	2U	3U

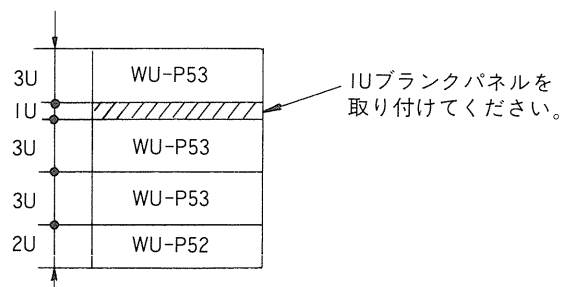
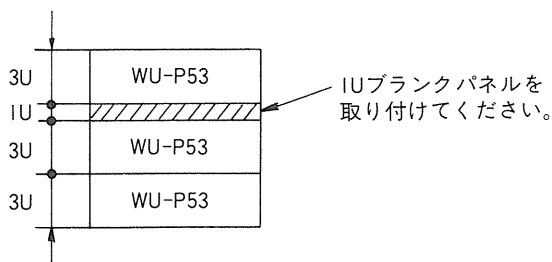
(BGMやカセットデッキなども上を目安に設置してください。)

- WU-P53数台を収納するときは、2台おきに1Uブランクパネルを取り付け、放熱効果を上げてください。
- 1本のラックあたり電力増幅ユニットの総ワット数が720Wを越える場合は、ファンユニット WU-L45Aが必要となります。
- ファンユニットは、ラックの天面に取り付けます。(ラック内温度が40°C以上になると動作します。)



WU-P53を3台ラックに収納する場合

※放熱効果を上げるために下図のようにしてください。



4. 業務用放送機器およびその他の機器類

電源制御ユニットと電力増幅ユニットの間に収納します。

ユニットの収納

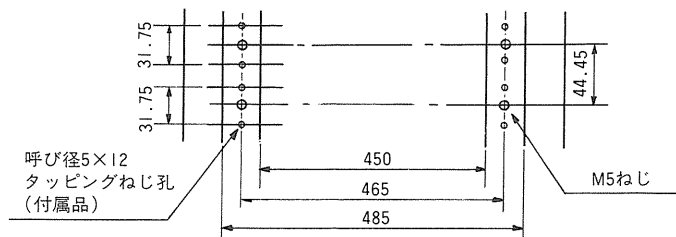
■ユニットの取り付け

● 収納できるユニットの最大寸法は、幅430mm、奥行き350mmです。

ラックの取付ねじピッチはEIA規格に準じています。

取付ねじ (M5 × 12) ……各ユニットに付属

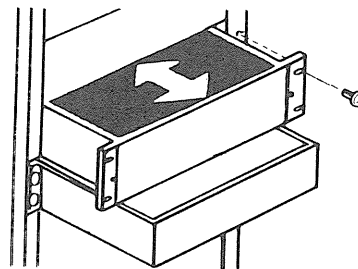
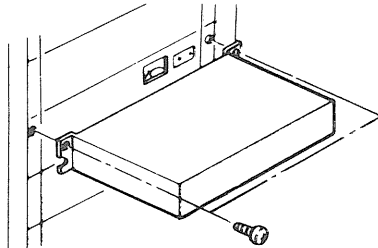
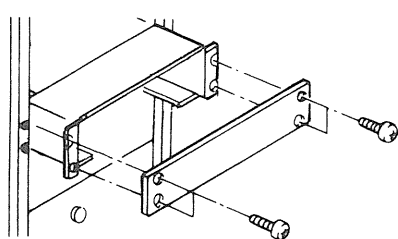
● ラムサ機器を取り付ける場合は、付属のタッピングねじ (呼び径5 × 12) をご使用ください。



■サービスユニットの使いかた

サービスユニットを使うと、ユニットの出し入れが容易にできます。

1. サービスユニットを取り出します。
2. 組み込む機器のすぐ下のユニットを止めているねじをはずし、サービスユニットをともじめします。
3. 組み込む機器をいったんサービスユニットの上ののせてからラックの中へ押し込み、ねじでとめます。



お願い

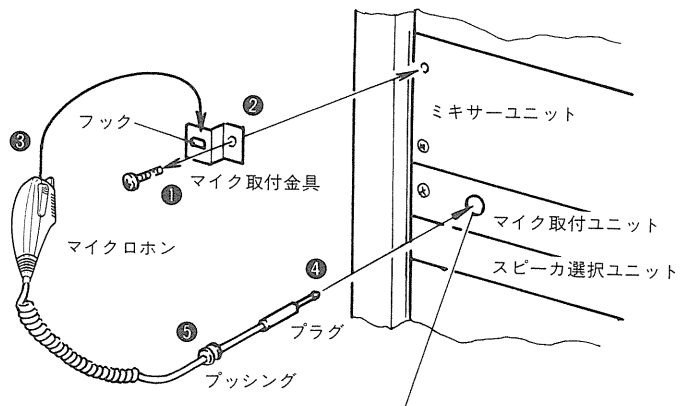
● 主銘板に次の事柄を書き込んでください。

収納ユニットの定格出力時の消費電力を記入
 収納ユニットの「電気用品安全法技術基準」による合計の消費電力を記入

WL-7100ラック型音響装置			
WL-7100	NO.	[REDACTED]	
100V		[REDACTED] W	
100V	[REDACTED] W	50/60Hz	

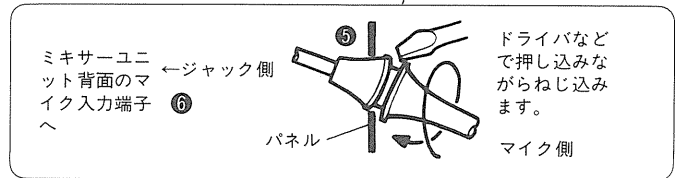
■マイクロホンWU-Z19(別売品)の取り付けかた

- ①ミキサーユニット取付ねじの左側を取り外します。
- ②取り外したねじでマイク取付金具を取り付けます。
- ③マイクロホンのプラグをマイク取付金具のフックに引っ掛けます。
- ④マイクロホンのプラグをマイク取付ユニットの左側にある孔に入れます。(右図参照)
 プッシングを孔に挿入します。
 マイクロホンのプラグをミキサーユニット背面入力端子にさし込みます。



メモ

- ・マイクロホンWU-Z19は不平衡形です。
- ・標準システムではマイクロホンWU-Z19の音声入力をミキサユニットWU-M60AのIN B-1に接続します。☞ 26ページ



優先順位について

■標準システムの優先順位について

- 標準システムでの優先順位は、一斉外部制御が第1位、スピーカ選択ユニットWK-420、WK-430(増設用)が第2位で固定です。

起動入力 \ 優先順位	第1位	第2位
一斉外部制御	○	—
スピーカ選択ユニットWK-420/430	—	○

- 3線式スピーカ(アッテネータ<音量調整器>付)をご使用の場合、一斉外部制御、スピーカ選択ユニットWK-420の一斉スイッチは、アッテネータが「OFF」のときでも放送されます。
- 一斉外部制御は、単局リモコンマイクWR-101の接続も可能です。

お願い

リモコンリレーユニットWU-R31、BGM放送モード選択ユニットWU-R35を使用する場合は、各入力間で第1位～第4位の優先順位ができるようになり、設定が必要となります。

●音声入力について

標準システムの音声入力は以下のようにになります。

優先順位 \ ミキサー入力	第1位 (一斉外部制御)	第2位 (WK-420/WK-430)
IN A	○	—
IN B	—	○
IN C	—	○

※一斉外部制御の音声は、IN A、マイクロホンWU-Z19はIN B-Iに接続します。

- 優先順位はミキサーユニットWU-M60Aのミュート制御により行っているため、音声入力A、B、Cは優先順位により固定となります。それ以外の音声入力に接続した場合はミュート回路がはたらかなくなり、音声が出力されないことやミキシングされてしまうことがあります。

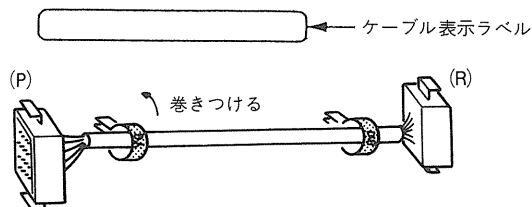
ラック内配線のしかた

■配線の前に

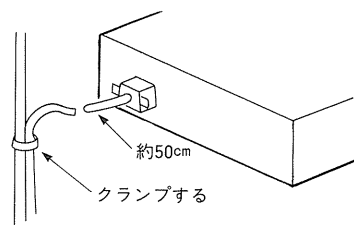
- ここでは、標準システムにおけるラック内配線の説明をしています。

別売のオプションユニットを接続する場合は、応用システム編(別冊)の内容も合わせてご参照ください。

- サービス点検を便利にするためケーブルには必ず付属のケーブル表示ラベルに端子名を書き、巻きつけてください。



- ケーブルは、サービス点検時にユニットが前面に引き出せるように約50cmたるませラックの左右後面の棒を利用してクランプしてください。



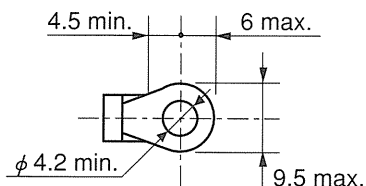
■ AC電源配線

お願い

- ・ AC電源の接続は、電気工事士の資格が必要です。
- ・ 工事中は、配電盤スイッチ・WU-L62のブレーカーは「切」にしてください。

●使用する電線と端子

- 電流容量の十分とれる電線を使用してください。
より線の場合：2.0mm²以上
単線の場合：直径1.6mm以上
- 配線する時は、付属の丸端子または、下図の寸法に適合する JIS C 2805銅線用絶縁被覆（直管形）付圧着端子 RAV2-4、RAP2-4（適用電線断面積2.0mm²）RAV5.5-4、RAP5.5-4（適用電線断面積5.5mm²）を使用してください。
- 2.63～6.64mm²のより線を使用する場合は、付属の丸端子をご使用ください。



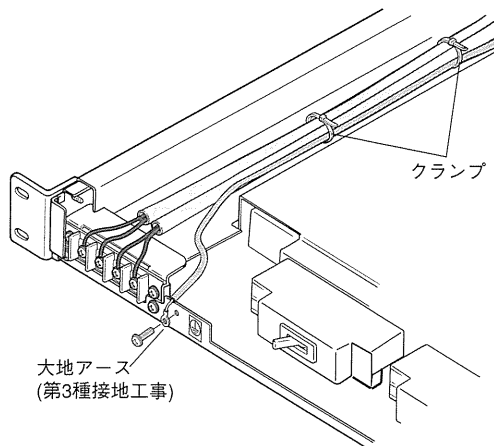
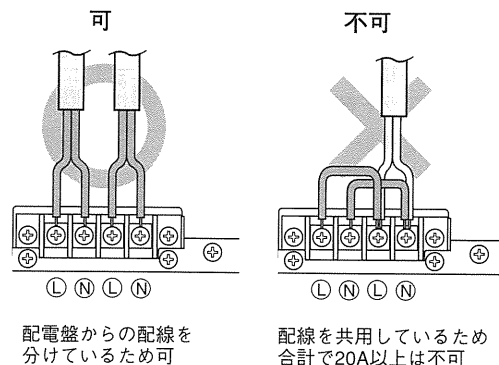
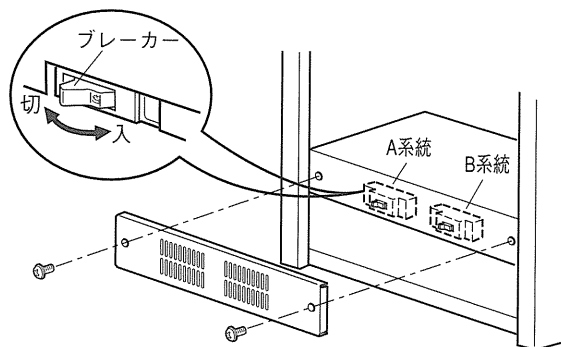
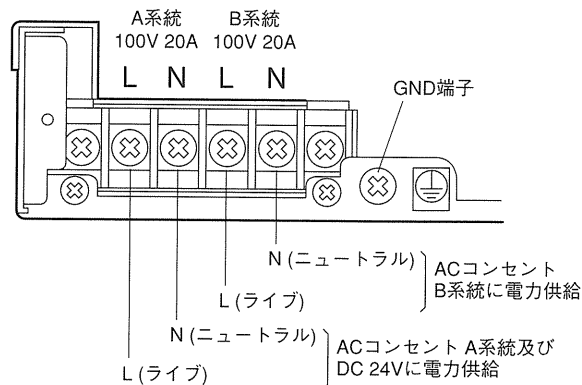
●電源の接続

- ① 配電盤スイッチを「切」にする。
- ② 2本のねじをゆるめ、電源制御ユニットの前面パネルをはずす。
- ③ ブレーカーを「切」にする。（出荷時は「切」です）
- ④ 配電盤から電源制御ユニットへ電源を接続する。
A系統は必ず接続してください。

ご注意

- ・ 使用できる電源（配電盤）は、20Aまたは30Aです。
- ・ 系統ごと（A、B）に主電源（配電盤）からの配線を分けて、直接接続してください。
- ・ 内線規程により、30Aを超える電源（配電盤）へは、接続できません。
- ・ 丸端子および電線が電源制御ユニットから飛び出ないように接続してください。

- ⑤ 取り付けたケーブルを、付属の束線バンド（大）で止める。（ケーブル接続部に直接力が加わるのを防ぐため）
- ⑥ 右端にある GND 端子を大地にアースする。
（第3種接地工事）
- ⑦ 接続完了後、配線に間違いがないか確認する。
確認後、配電盤スイッチと、電源制御ユニットのブレーカーを「入」にする。
- ⑧ 前面パネルを元どおりねじ止めする。



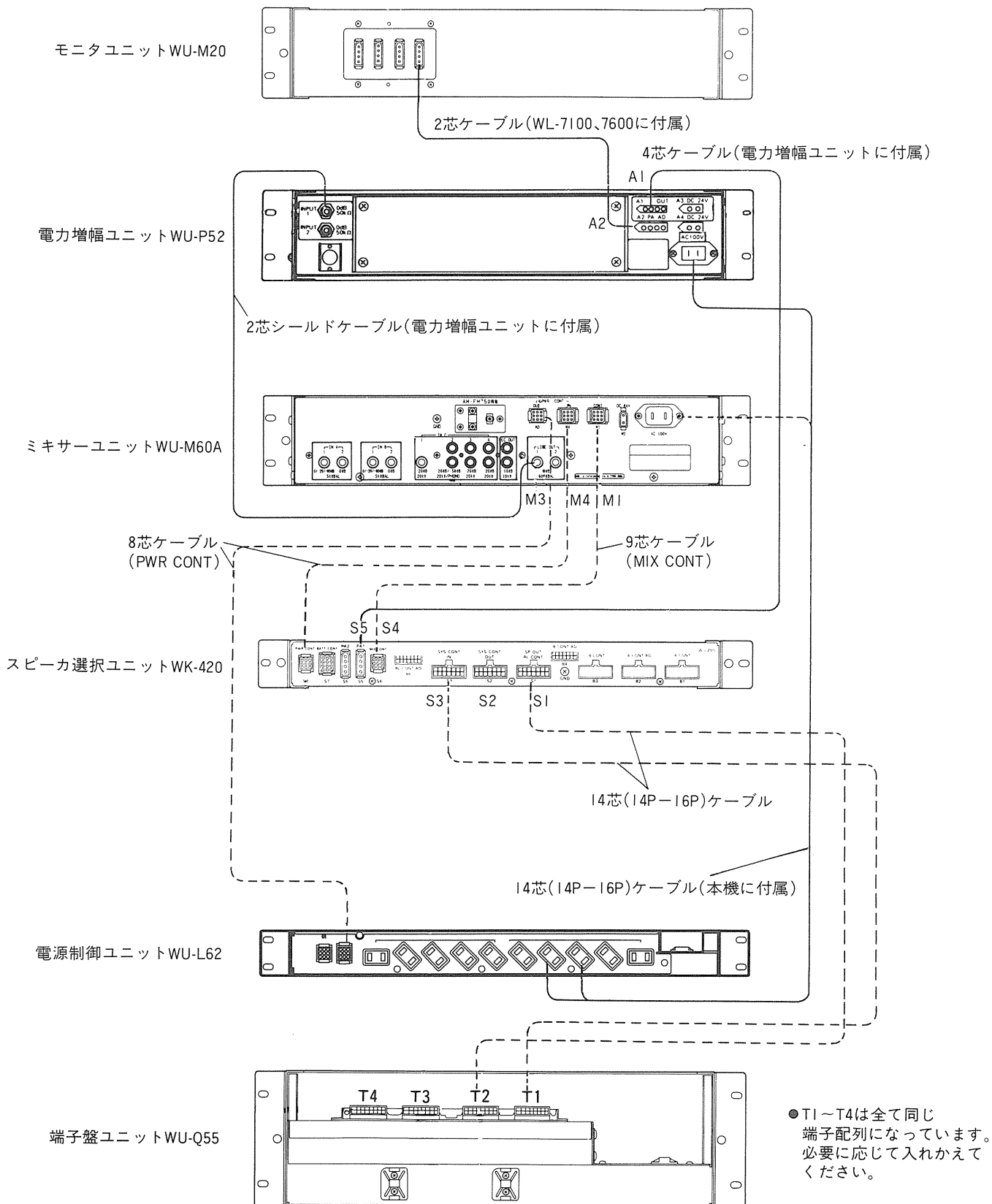
ラック内配線のしかた

■標準システムでの接続

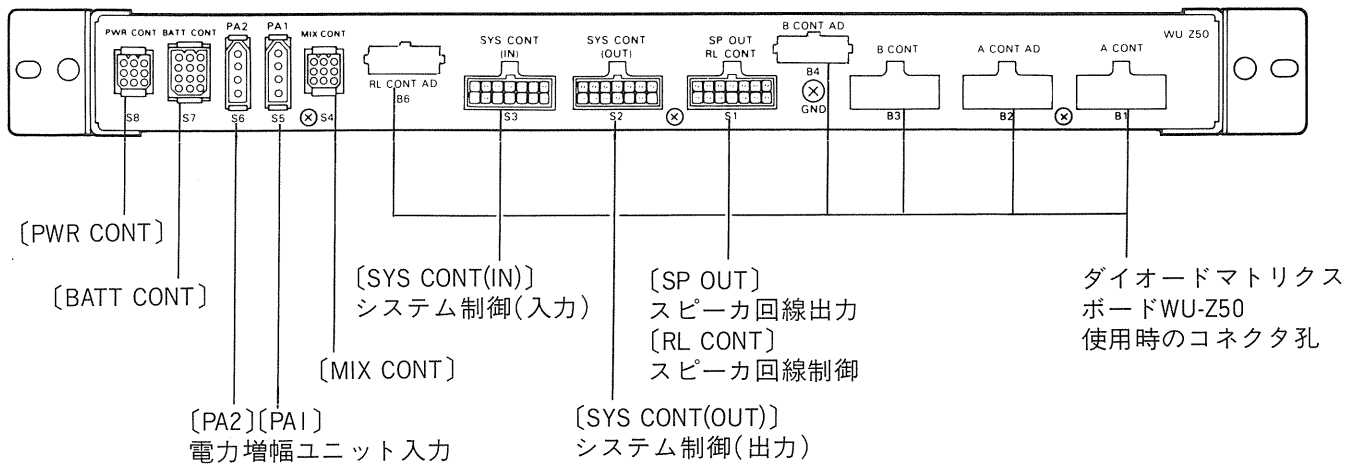
●WL-7100/7600に電力増幅ユニットWU-P52〔別売品〕を接続した標準システムの接続

-----点線は配線済みのケーブル(出荷時)

——実線は内部配線しなければならないケーブル



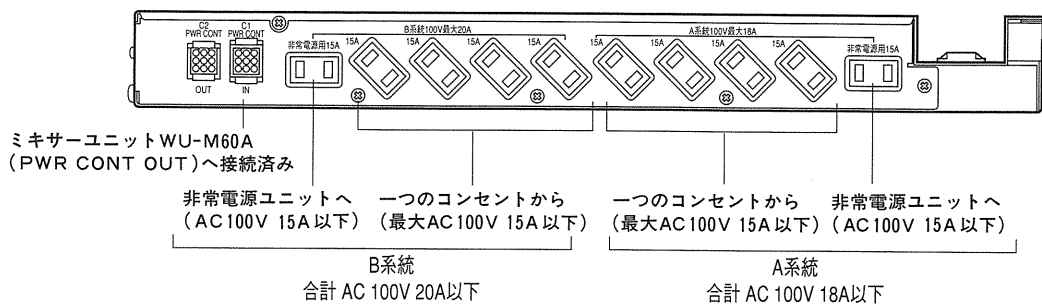
■スピーカー選択ユニットWK-420の接続のしかた



端子名		接続先			接続ケーブル
記号	名称	品番	記号	内容	ケーブル長、芯数、備考
B1	A CONT	応用システム編(別冊) 「ダイオードマトリクスボード(WU-Z50)」を参照			
B2	A CONT AD				
B3	B CONT				
B4	B CONT AD				
B5	RL CONT				
B6	RL CONT AD				
S1	SP OUT	WU-Q55	T ₁ ~T ₄ のうち空端子へ		2.1m 14芯 (14P-16P)
		WU-R35	G8	SP IN	2.1m 14芯 (14P-14P)
	RL CONT	WU-R31	L4	スピーカ回線制御	2.1m 14芯 (14P-14P)
		WU-R35	G5		
S2	SYS CONT(OUT)	WK-430	2S3	システム制御	2.1m 14芯 (14P-14P)
		WU-R31	L6		
		WU-R35	G7		
S3	SYS CONT(IN)	WU-Q55	T ₁ ~T ₄ のうち空き端子へ		2.1m 14芯 (14P-16P)
S4	MIX CONT	WU-M60A	MI	CONT	2.1m 9芯
S5	PA1	WU-P51など	A1	PA OUT	3m 4芯 電力増幅ユニットに付属
S6	PA2	WU-P51など	A1	PA OUT	3m 4芯 電力増幅ユニットに付属
		他のWK-430	2S4	PAI	1m 2芯 WK-430に付属
S7	BATT CONT	WP-570B	DI	BATT CONT	2.1m 7芯 WP-570Bに付属
S8	PWR CONT	WU-L62	CI	PWR CONT IN	2.1m 8芯 WU-L62に付属

ラック内配線のしかた

■電源制御ユニット WU-L62の接続のしかた



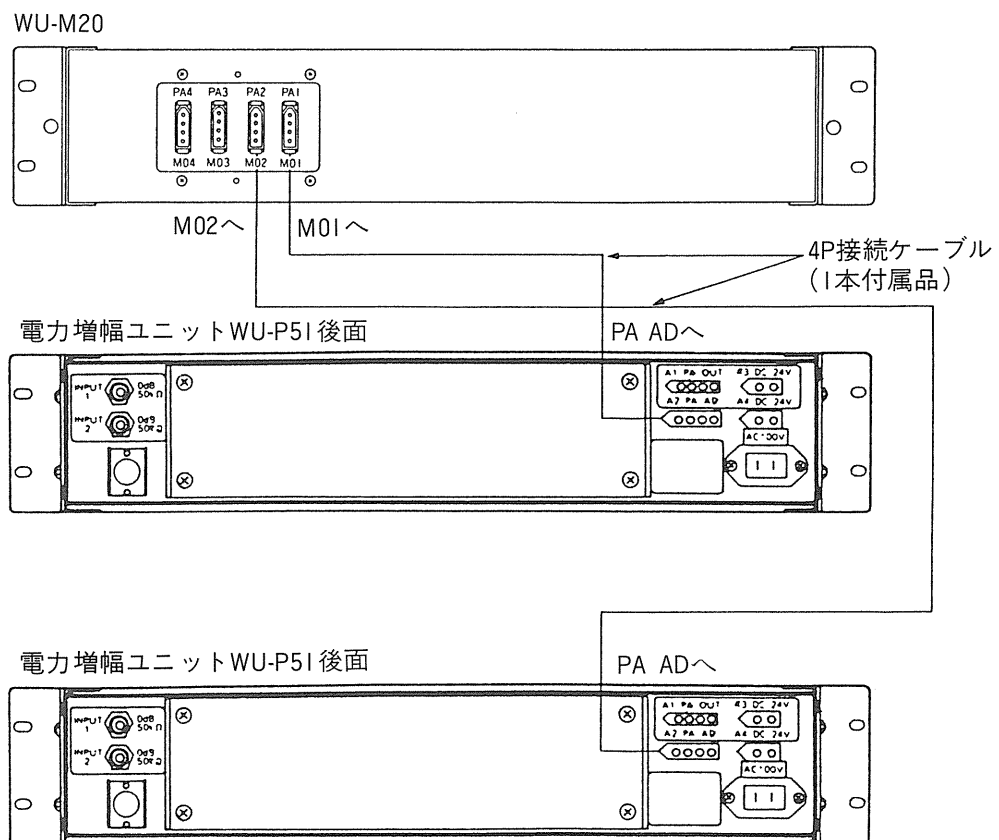
メモ

- ・突入電流の重畳を軽減するため、突入電流の大きな電力増幅ユニットを複数接続する場合は、A系統、B系統に分けて接続してください。
- ・非常電源ユニットの電源コードと、非常電源ユニットからDC電源コードを接続している電力増幅ユニットの電源コードの接続は、システムを合わせてください。

■モニタユニットWU-M20の接続のしかた

WU-M20は後面に音声入力用のコネクタが4つあり、最大4系統までの音声をモニタできます。電力増幅ユニット WU-P51、P52、P53のPA AD (A2)と接続します。

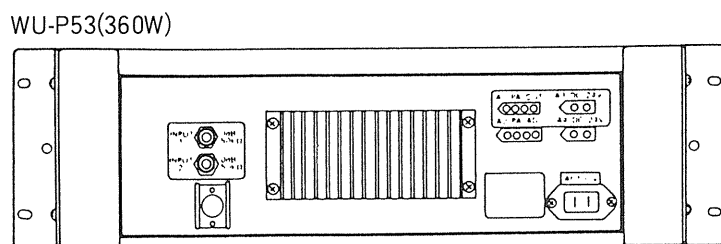
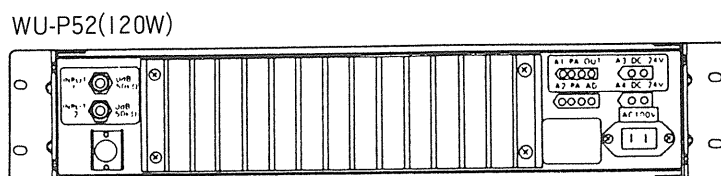
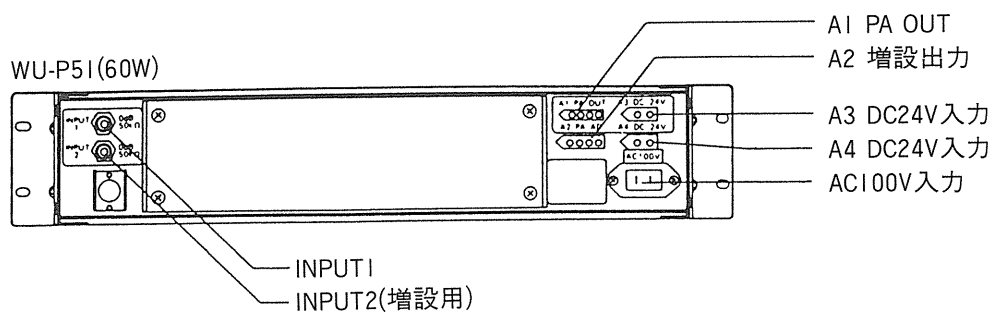
- 4P接続ケーブルはWL-7100/7600に1本付属しています。2本以上必要な場合は、別途手配してください。
- サービス部品名：モニタ入力用ケーブル YWL6100SR01



お願い

WU-M20を接続することにより1系統あたり3Wの負荷が電力増幅ユニットにかかるため、各スピーカ回線の合計W数にご注意ください。

■電力増幅ユニットWU-P51/P52/P53の接続のしかた

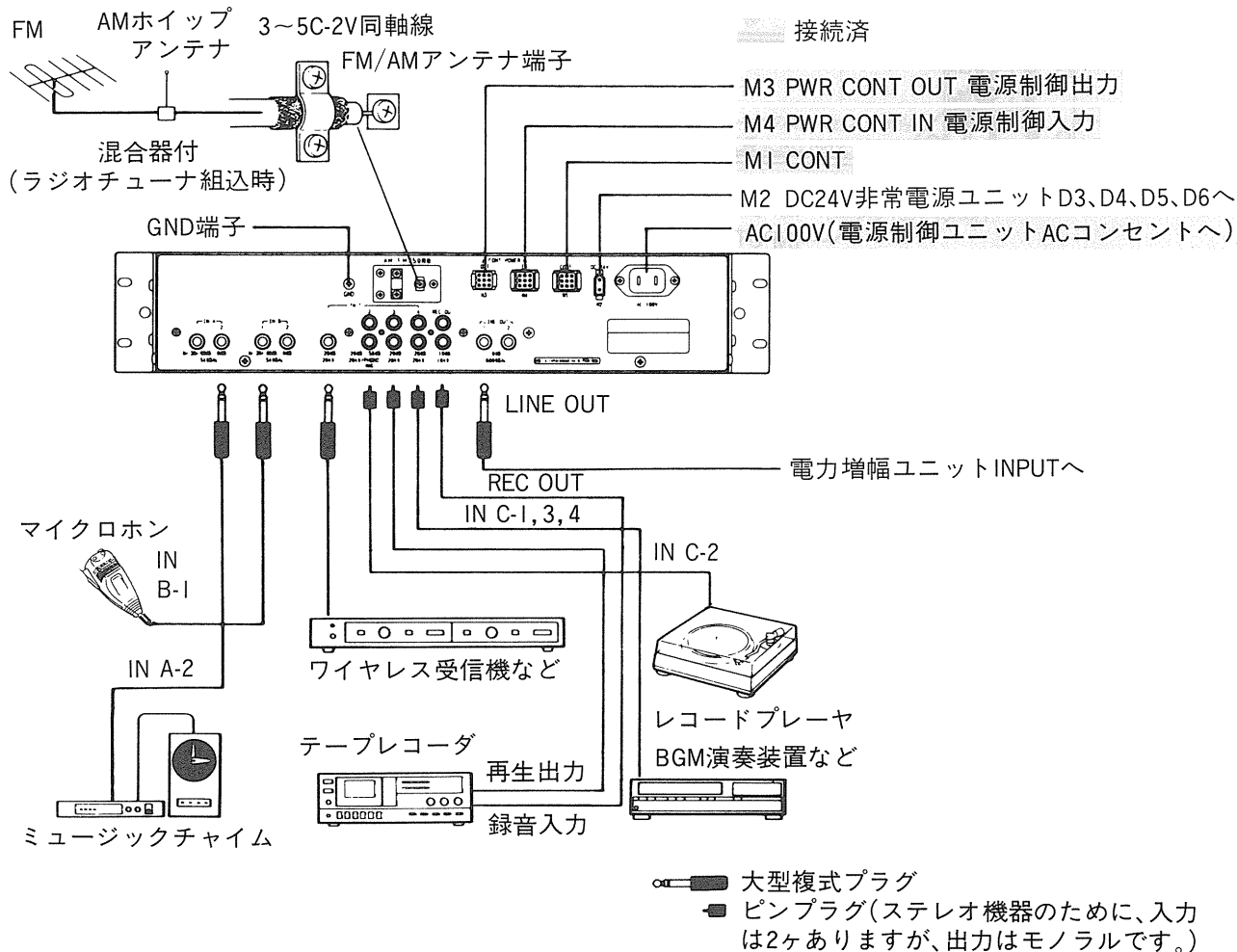


端子名		接続先			接続ケーブル		
記号	内容	品番	記号	内容	ケーブル長	芯数	備考
AC100V		WU-L62	AC100Vコンセント		2.5 m		電力増幅ユニットに付属
A1	PA OUT	WK-420	S5,S6	PA1, 2	3 m	4 芯	電力増幅ユニットに付属
		WK-430	2S4, 2S5				
		WU-R3I	L6,L7				
A2	PA AD	増設用 PA	A1	PA OUT	3 m	2 芯	電力増幅ユニット(増設用)に付属
A3	DC 24V	非常電源ユニット	D3,4,5,6	DC 24V	3 m	2 芯	電力増幅ユニットに付属
A4	DC 24V	または増設用PA	A3,4	DC 24V入力	3 m	2 芯	電力増幅ユニットに付属
INPUT 1		WU-M60A	LINE OUT		2 m	2芯シールド	電力増幅ユニットに付属
INPUT 2		増設用 PA	INPUT 1		2 m	2芯シールド	電力増幅ユニット(増設用)に付属

ラック内配線のしかた

■ミキサーユニットWU-M60Aの接続のしかた

●接続のしかた



- 接続した機器名(マイク、BGMなど)をパネル面の記名カードに記入してください。
- 入力A-1は前面パネルにもジャックがあり、後面より優先します。
- 音声入出力線は2芯シールド線としてください。

端子名		接続先			使用ケーブル	
記号	内容	ユニット・品番	記号	内容	使用ケーブル	備考
M1	CONT	WK-420	S4	MIX CONT	9ピンケーブル	WL-7100/7600では接続済み
M2	DC24V	WP-570B	D3~D6	DC 24V	2芯ケーブル	電力増幅ユニットに付属
M3	PWR CONT OUT	WU-L62	C1	PWR CONT IN	9ピンケーブル	WL-7100/7600では接続済み
M4	PWR CONT IN	WK-420	S8	PWR CONT	9ピンケーブル	WL-7100/7600では接続済み

●音声入力について

ミキサユニットWU-M60Aの音声入力は優先順位により決定されます。
下記表をご参照のうえ接続してください。(標準システムの場合のみ)

優先順位 ミキサー入力	第 1 位 (一斉外部制御)	第 2 位 (WK-420/WK-430)
IN A	○	—
IN B	—	○
IN C	—	○

お願い

起動していない起動入力には音声を入力しないでください。WK-420、WK-430で放送中に一斉外部制御(入力A)の音声が入力されると、ミキシングして放送されてしまいます。

●入力レベルと入力インピーダンス

入 力	入 力 レ ベ ル	入力インピーダンス	入力ジャック	ボリューム	
入力 A	1	0/−20/−60dB切換	5k Ω 電子バランス	大型複式(前後)	スライド式
	2	0dB(チャイム用)	5k Ω 電子バランス	大型複式	スライド式
入力 B	1	0/−20/−60dB切換	5k Ω 電子バランス	大型複式	スライド式
	2	0dB(リモコン用)	5k Ω 電子バランス	大型複式	スライド式
入力 C	1	−20dB	20k Ω	大型複式	スライド式
	2	−20/−58dB切換	20k Ω /MAG PHONO用	ピン×2	スライド式
	3	−20dB	20k Ω	ピン×2	半固定
	4	−20dB	20k Ω	ピン×2	半固定

ラック内配線のしかた

●音声線の接続について

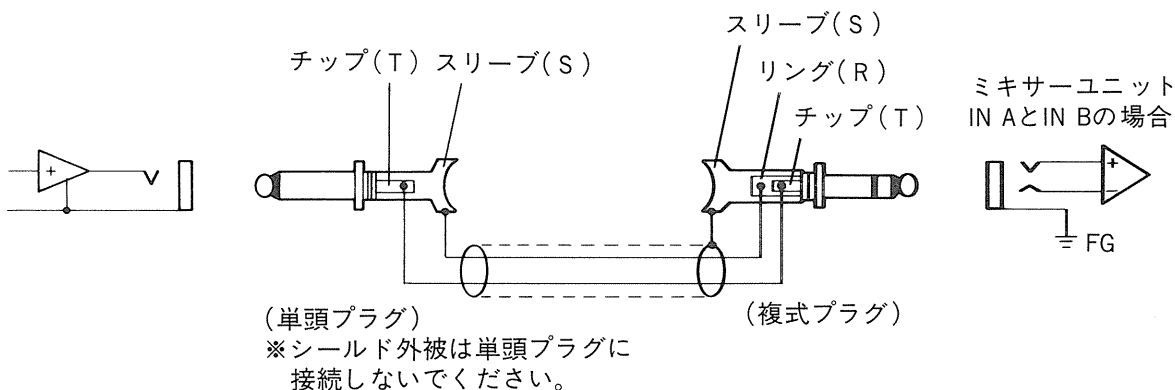
お願い

音声関係の入出力は、複式プラグ、2芯シールド線で接続してください。〔サービス部品扱い YML 6655SR01A 約1.6m〕（単頭プラグ、単芯シールド線は使用できません）

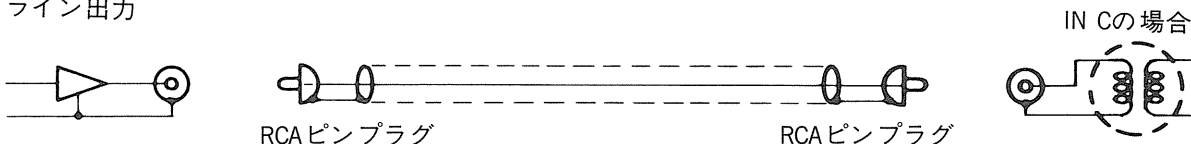
●不平衡出力機器と接続するときは、下図の様に接続してください。

（入力の場合）

BGM、ワイヤレス受信機、ミュージックチャイムなどの
ライン出力



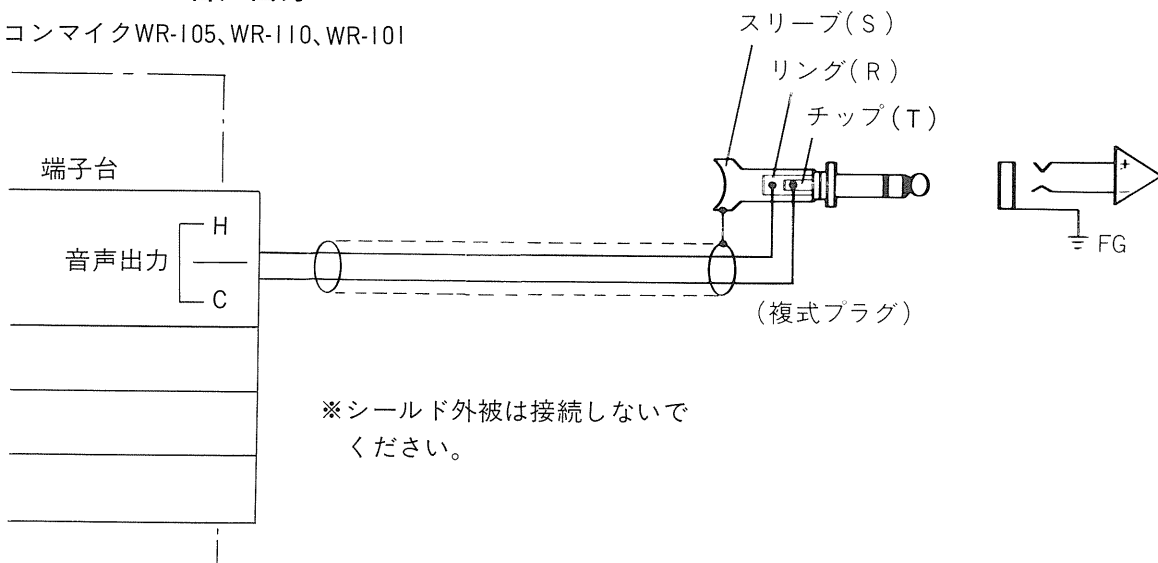
カセットデッキ、CD BGMなどの
ライン出力



※IN C1～4は不平衡入力となっています。平衡入力とするときは、平衡トランス(YWIT-1106：別売)を取り付けてください。

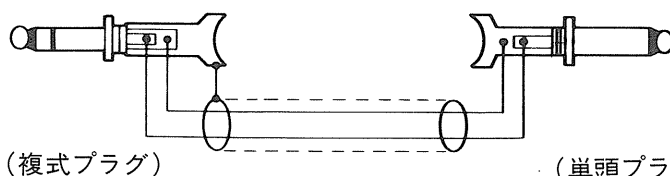
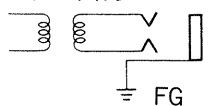
●リモコンマイクの音声出力

リモコンマイクWR-105、WR-110、WR-101



(出力の場合)

ミキサーユニットの
ライン出力

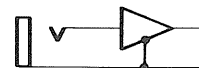


(複式プラグ)

(単頭プラグ)

※シールド外被は単頭プラグに
接続しないでください。

不平衡入力増幅器



■電力増幅ユニットを増設するときの接続のしかた

●電力増幅ユニットの総合出力と組み合わせ

電力増幅ユニット \ W数	~60W	~120W	~180W	~240W	~360W	~480W	~600W	~720W	~840W	~1,080W
WU-P51	1		1							
WU-P52		1	1	2		1	2		1	
WU-P53					1	1	1	2	2	3

- 数字と数字の間のワット数 (750W など) は、その上のワット数 (840W) の組み合わせにしてください。
- 上の表以外の組み合わせは、並列接続台数に注意して組み合わせてください。

並列接続可能な台数

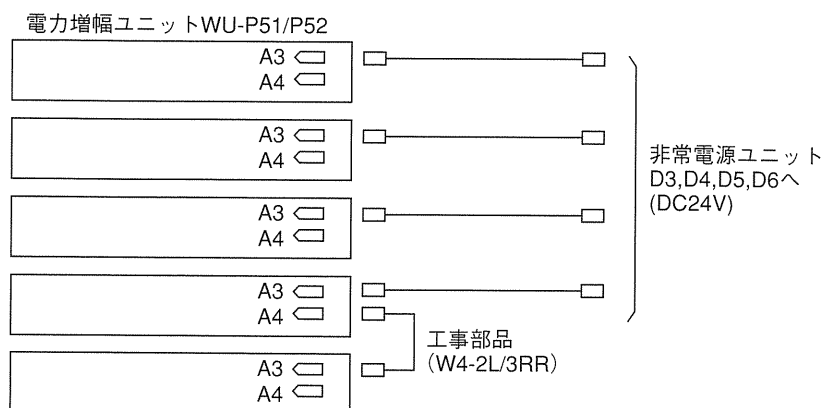
電力増幅ユニット	接続可能な台数	最大合計出力数
WU-P51 と P52 の組み合わせ	4	480W
WU-P53 を含む組み合わせ	3	1080W

ラック内配線のしかた

● 電力増幅ユニット5台を1台の非常電源ユニット(WP-570B)で動作させる場合の接続

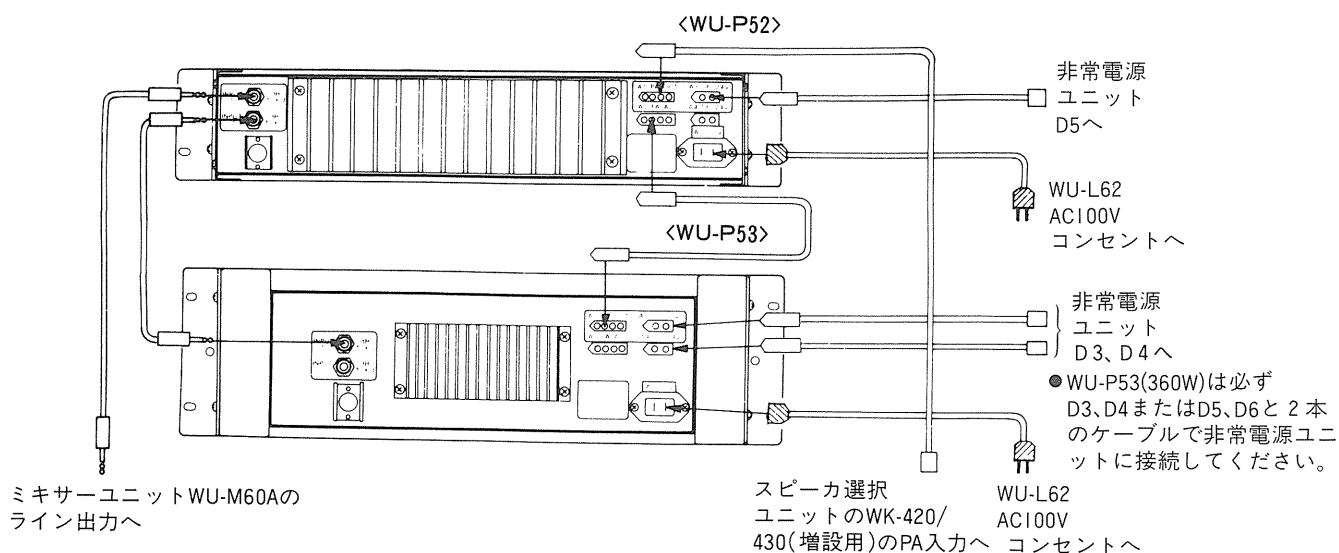
工事部品(2芯ケーブルW4-2L/3RR)を1本使って下図のように接続します。

非常電源ユニットのDC24Vコネクター(D3~D6)1個当たりに接続できる出力は240W以下です。

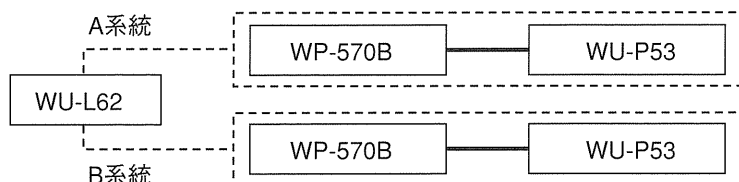


● 電力増幅ユニットを2台以上組み合わせる場合の接続

例 WU-P52とWU-P53を並列接続するとき



● 電源制御ユニット(WU-L62)の電源系統は、A系統とB系統があります。非常電源ユニットと電力増幅ユニットの電源コードを電源制御ユニットに接続する際は、電源系統を合わせてください。



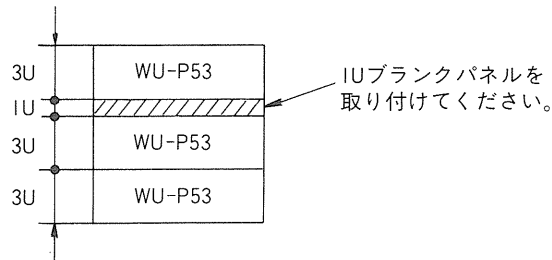
● 非常電源ユニット(WP-570B)のDC電源コネクター(D3~D6)に接続できる電力増幅ユニットのW数は、以下の2つの条件を同時に満たしてください。

- ・ DC電源コネクター1個当り最大 240W以下
- ・ DC電源コネクター4個全ての合計 720W以下

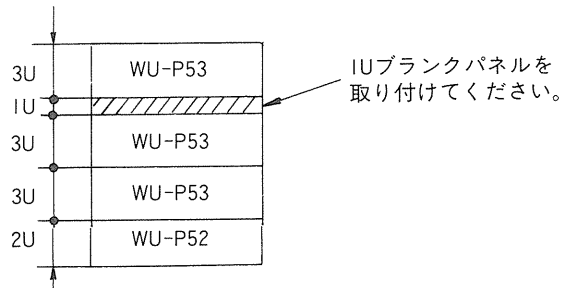
WU-P53を3台ラックに収納する場合

※放熱効果を上げるために下図のようにしてください。

<1080Wの場合>

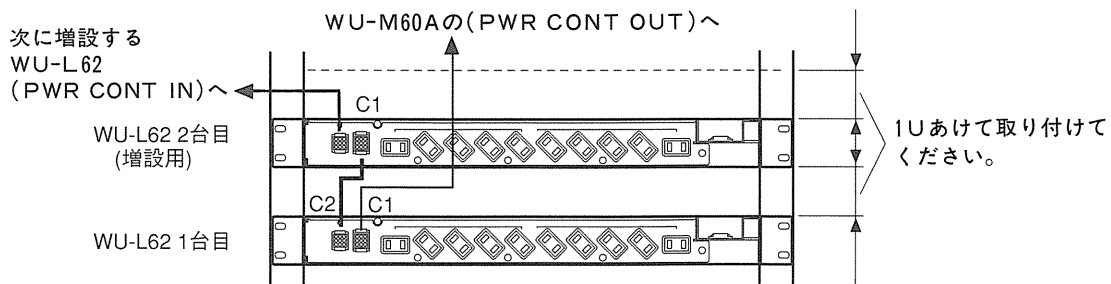
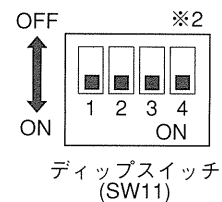


<1200Wの場合>



■電源制御ユニットWU-L62を増設する場合

- 電力増幅ユニット（別売品）など追加し、AC100Vの消費電流が最大38Aを超える場合には、電源制御ユニットを増設してください。PWR CONTを下図のように、接続します。
 - ディップスイッチ(SW11)の1,2,3,4をONに設定してください。
- ※1 ディップスイッチ(SW11)の4をOFF(DC24Vブレイク信号側)にしてしまうと、DC24V出力遮断となり、動作しなくなります。



お願い

- 本装置で使用する電源制御ユニットはWU-L62をご使用ください。
- BGM放送モードを行うときは電力増幅ユニットを増設しなくてもWU-L62を増設する必要がある場合があります。☞ 応用システム編(別冊)「BGM放送モード」を参照。

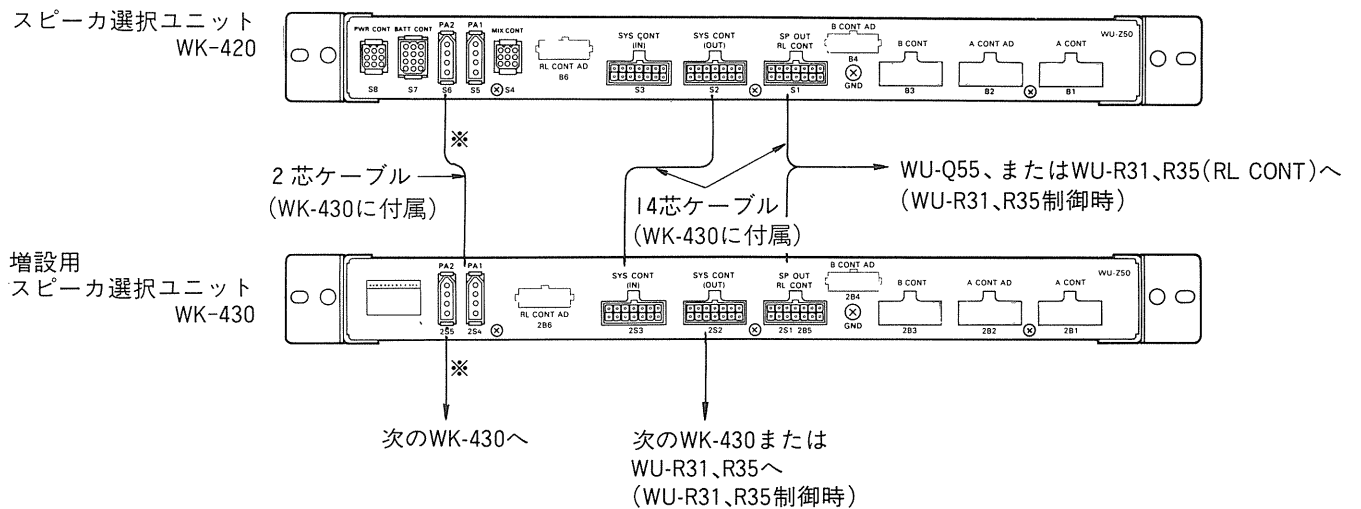
ラック内配線のしかた

■増設用スピーカ選択ユニットWK-430の接続のしかた

●スピーカ選択スイッチの増設

- ・スピーカ選択スイッチが10局で不足の場合は、増設スピーカ選択ユニットWK-430(別売品)を接続します。
- ・増設スピーカ選択ユニットWK-430 1台で、10局増設することが可能です。
- ・ダイオードマトリクスボードWU-Z50(別売品)を1枚以上使うときにも必要です。

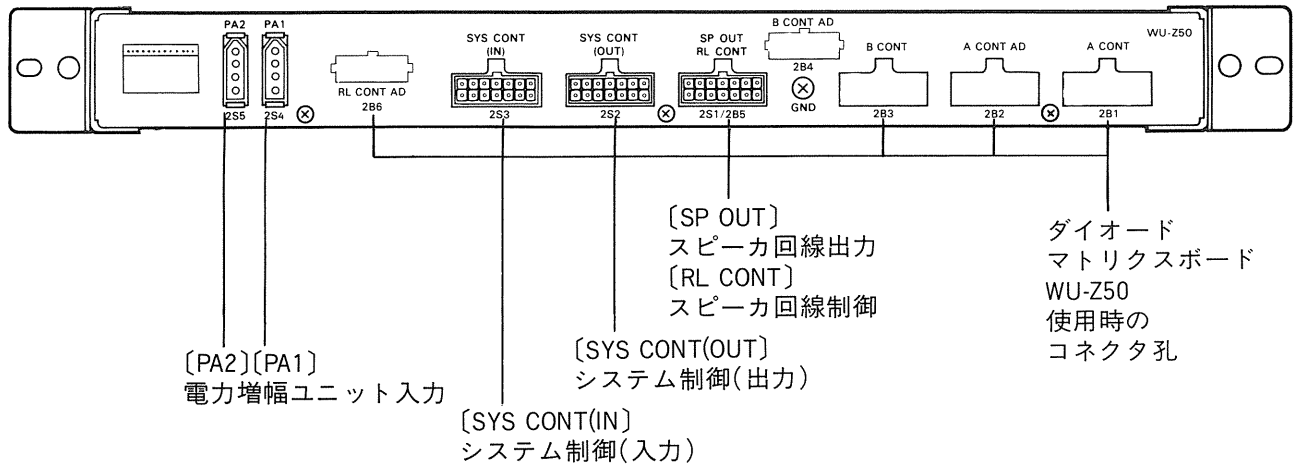
●接続のしかた



お願い

- ・※印の2芯ケーブルは以下の場合接続しません。
 1. PA入力(PA1、PA2)ごとに、異なる電力増幅ユニットの出力を接続するとき。
 2. リモコンリレーユニットWU-R31(別売品)、BGM放送モード選択ユニットWU-R35(別売品)を制御する場合。

● 後面コネクタの接続のしかた

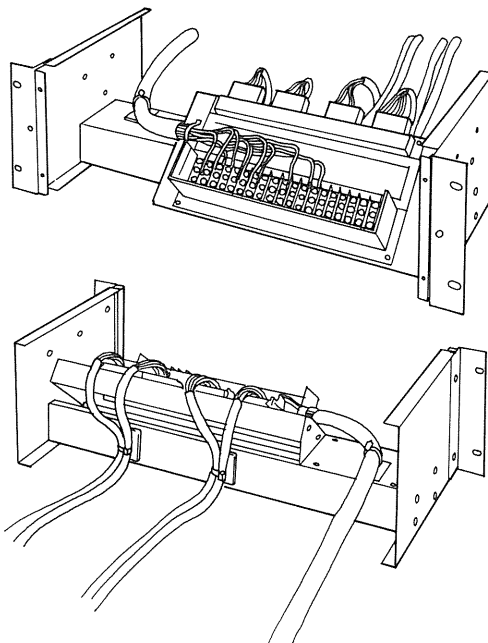


端子名		接続先			接続ケーブル
記号	名称	品番	記号	内容	ケーブル長、芯数、備考
2B1	A CONT	応用システム編(別冊) 「ダイオードマトリクスボード(WU-Z50)」参照			
2B2	A CONT AD				
2B3	B CONT				
2B4	B CONT AD				
2B5	RL CONT				
2B6	RL CONT AD				
2S1	SP OUT	WU-Q55	T ₁ ~T ₄ のうち空き端子へ		2.1m 14芯 (14P-16P)
		WU-R35	G8	SP IN	2.1m 14芯 (14P-14P)
	RL CONT	WU-R31	L4	スピーカ回線制御	2.1m 14芯 (14P-14P)
		WU-R35	G5		
2S2	SYS CONT(OUT)	他のWK-430	2S3	システム制御	2.1m 14芯 (14P-14P)
		WU-R31	L6		
		WU-R35	G7		
2S3	SYS CONT(IN)	WK-420	S2	システム制御	2.1m 14芯 (14P-14P)
		他のWK-430	2S2		
2S4	PA1	WU-P51など	A1	PA OUT	3m 4芯 電力増幅ユニットに付属
		WK-420	S6	PA2	1m 2芯 WK-430に付属
		他のWK-430	2S5		
2S5	PA2	WU-P51など	A1	PA OUT	3m 4芯 電力増幅ユニットに付属
		他のWK-430	2S4	PA1	1m 2芯 WK-430に付属

外部配線のしかた

■通線のしかた

- スピーカ回線、リモコンマイクなどの配線は端子盤ユニットWU-Q55を使用して行います。
- 線材径が太く、曲りにくいときは、クランプより奥でほぐしたのち、束線してください。
- 端子盤ユニットWU-Q55をラックから前面に引き出すことができるように、ラック内では、50cm程度たるませて束線してください。
- 架内ケーブルは、背面で束線し固定してください。



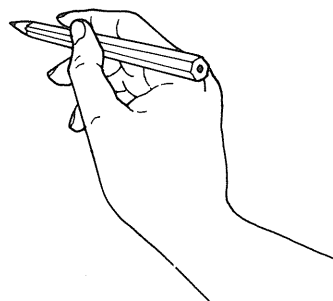
■端子台名称の記入方法

- 端子盤ユニットWU-Q55には各端子のスピーカの設置場所や、リモコンマイクの接続先を記入する端子台表示ラベルが付属されています。
- 記入後は、前面パネルの裏面に貼ります。

T1					T2					T3					T4				
1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	6	7	8	9	10	6	7	8	9	10	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	11	12	13	14	15	11	12	13	14	15	11	12	13	14	15

上段
中段
下段

T1		T2		T3		T4	
1	9	1	9	1	9	1	9
2	10	2	10	2	10	2	10
3	11	3	11	3	11	3	11
4	12	4	12	4	12	4	12
5	13	5	13	5	13	5	13
6	14	6	14	6	14	6	14
7	15	7	15	7	15	7	15
8		8		8		8	

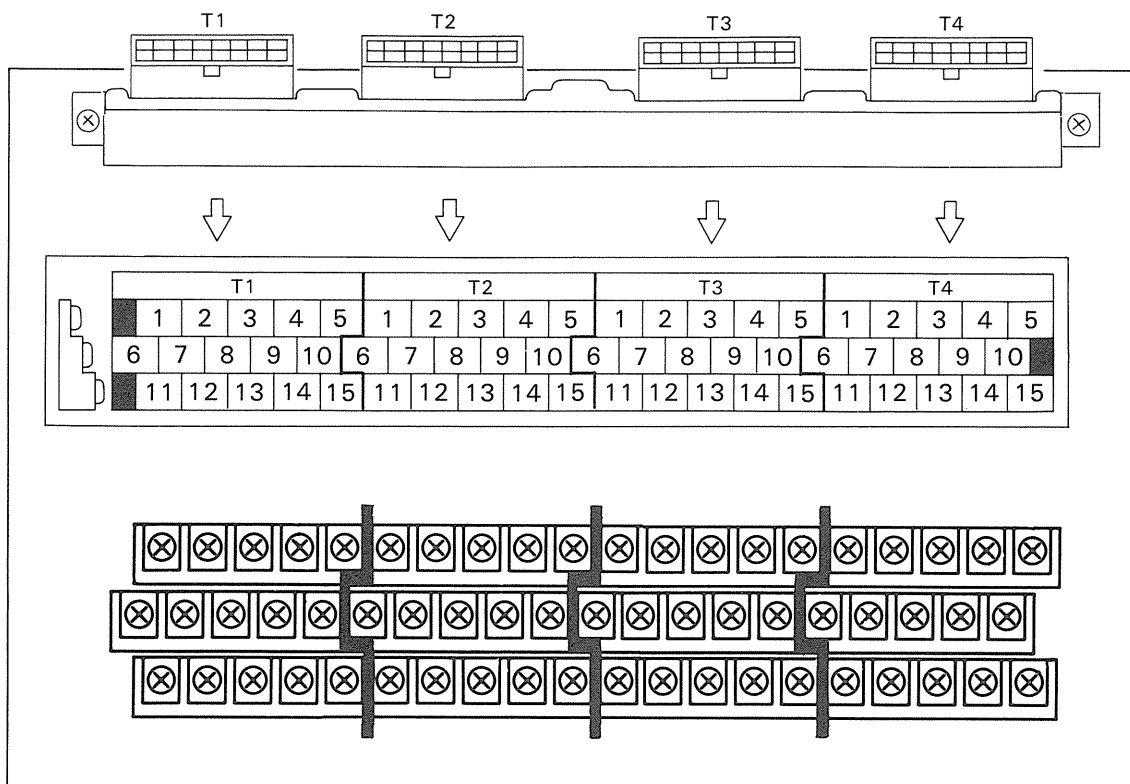


■端子の配列

端子数は60端子で下記の様に15端子ごとに4ブロック (T1、T2、T3、T4) に分かれています。

端子とコネクタの接続は1：1に対応しています。

※接続のしかたについては、接続する機器の工事説明書をご参照ください。

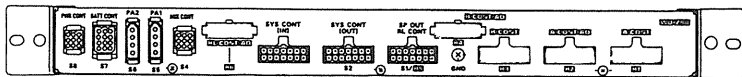


外部配線のしかた

■スピーカー出力端子の接続

スピーカーを10系統まで接続できます。

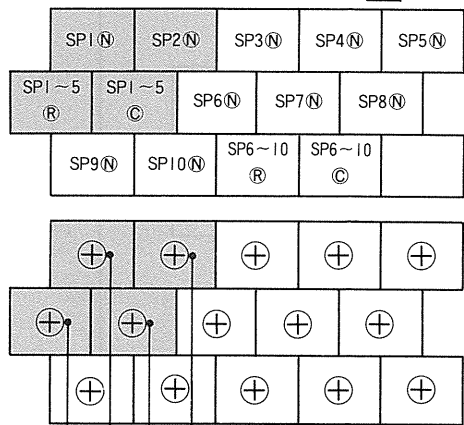
WK-420背面



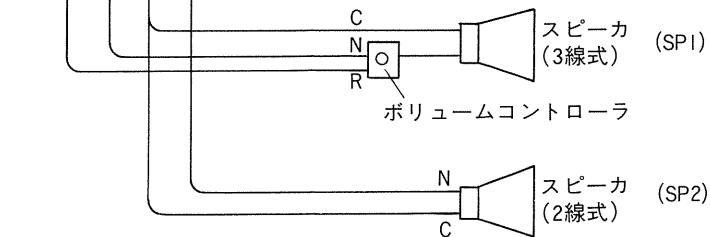
SP OUTへ

WU-Q55

T1~T4、いずれかの端子

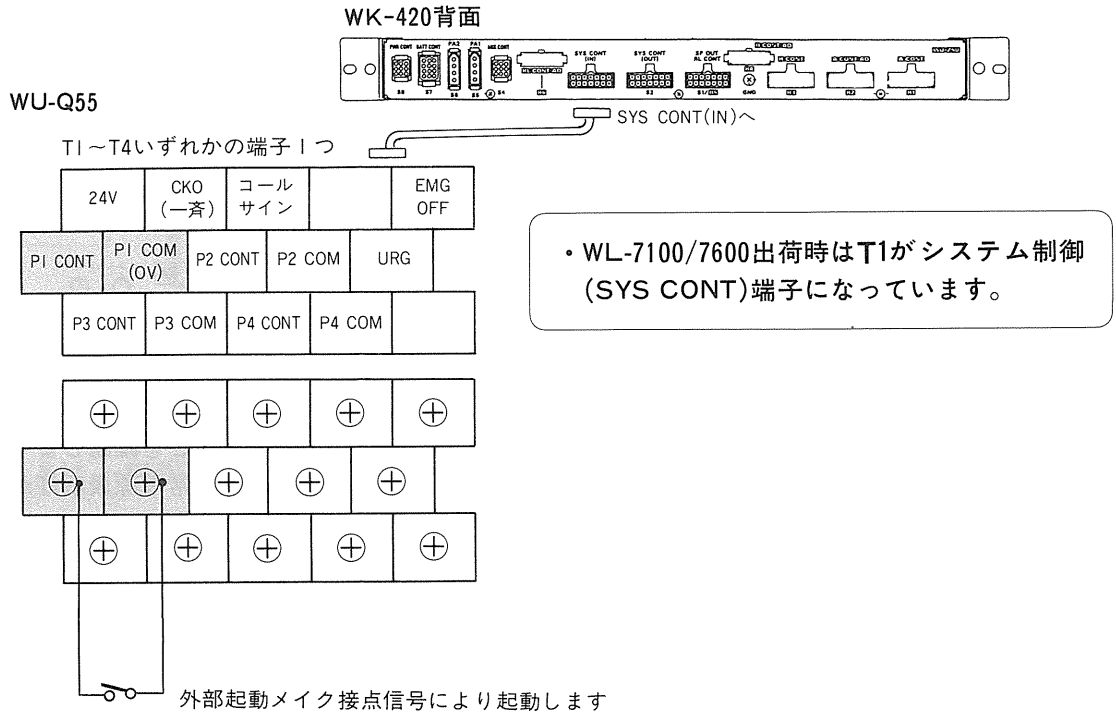


・WL-7100/7600出荷時はT2がスピーカー出力端子になっています。

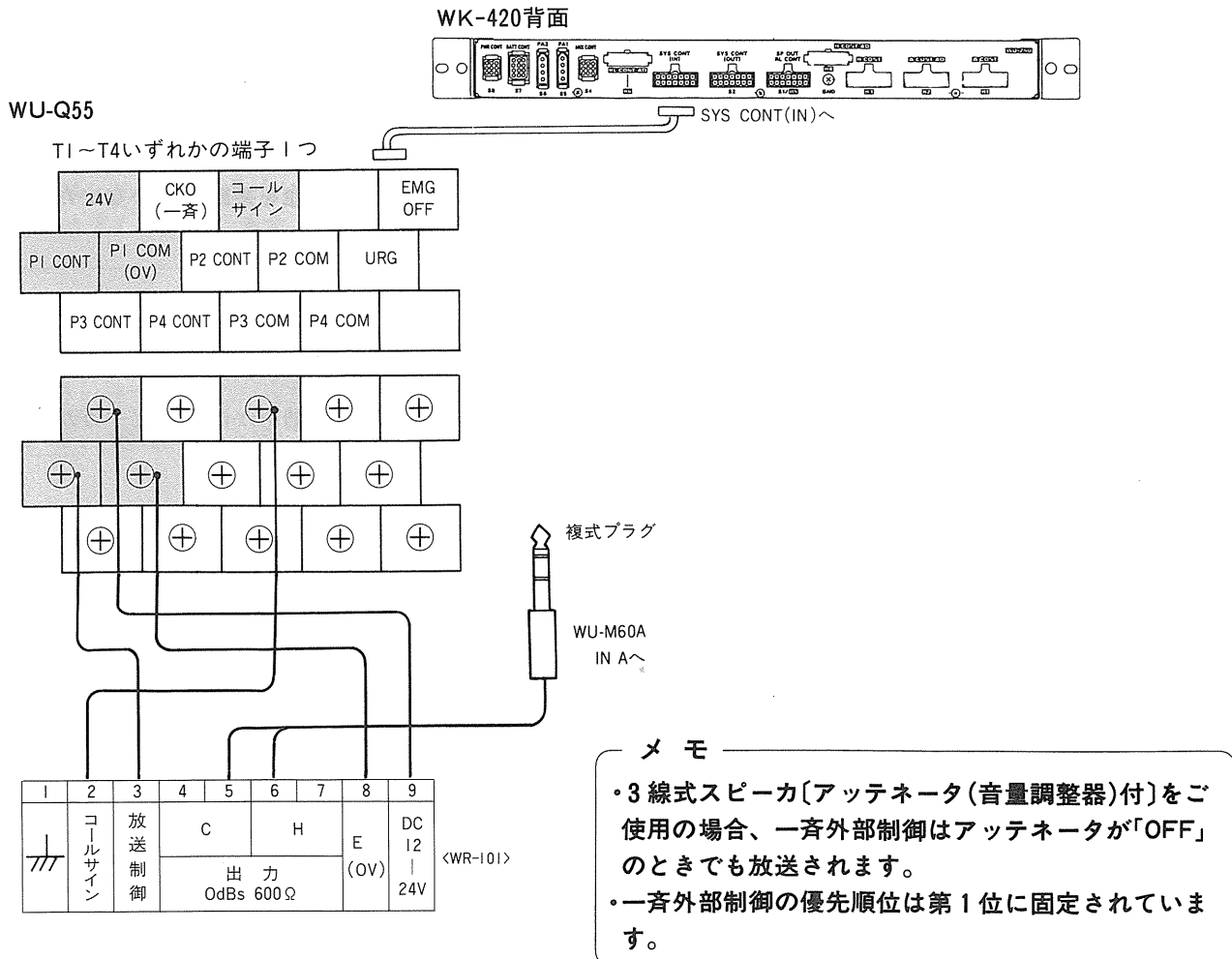


■一斉外部制御の接続

●一斉外部制御の接続

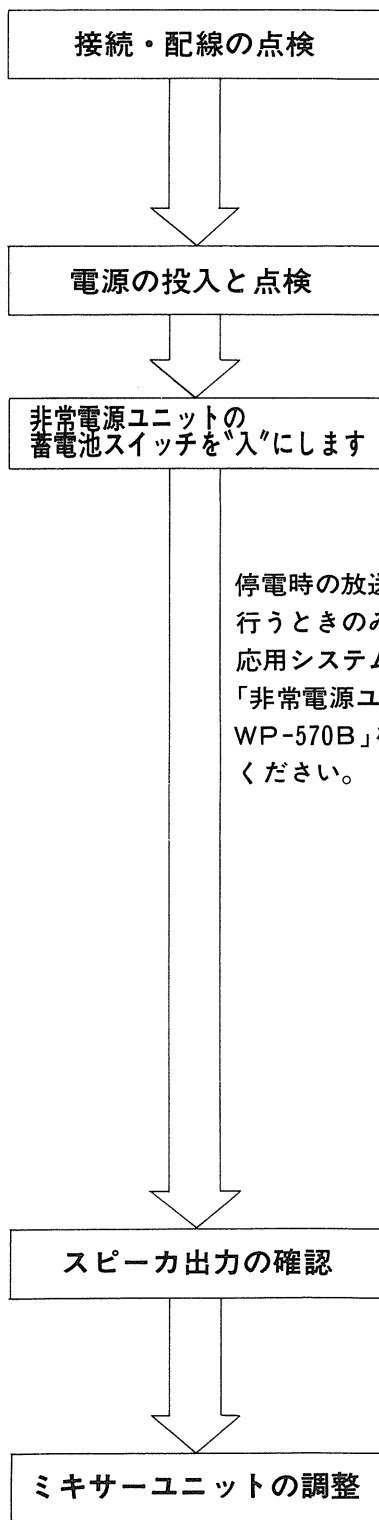


●リモコンマイクWR-101と端子盤ユニットWU-Q55の接続



接続・点検と調整

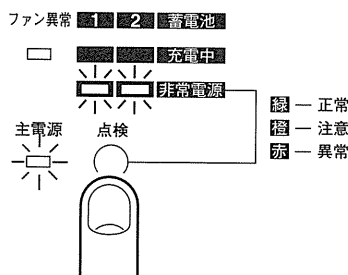
■動作確認



停電時の放送を行うときのみ、
応用システム編(別冊)
「非常電源ユニット
WP-570B」をご参照
ください。

- すべての接続が終了したら、電源制御ユニット (WU-L62) のブレーカをONにする前に、再度配線・接続を点検してください。
- 各ユニット間、リモコンマイクの接続ミスや配線モレがありませんか？
- 電源ユニットWU-L62のブレーカを「入」にし、ヒューズが切れたりしないか確認します。

- 非常電源ユニットWP-570Bの主電源表示灯が点灯していることを確認します。
- 充電中表示灯が点灯していることを確認します。
- 点検スイッチを押したときに非常電源表示灯が緑色または橙色に点灯していることを確認します。



お願い

- 点検スイッチは10秒以上押さないでください。
- 点検スイッチを押すと充電中表示灯1、2が消灯します。
- 蓄電池を1個しか使用していない場合は、充電中表示灯は1灯しか点灯しません。これは蓄電池を接続していないためで異常状態ではありません。

- スピーカ選択ユニットから起動をかけ、スピーカから音がでているかを確認します。
- リモコンマイク、外部制御から起動をかけ、スピーカから音がでているかを確認します。

- ミキサーユニットWU-M60Aの調整をご参照ください。☞39ページ

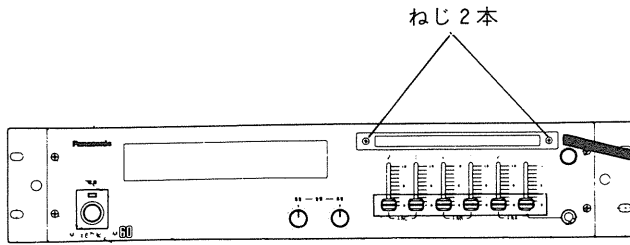
絶縁耐力・絶縁抵抗試験

スピーカ回線には、雷・静電気などから回路を保護するためにサージアブソーバ(ZNR)を使用しています。絶縁耐力・絶縁抵抗試験を行うとZNRによるモレ電流により不良と見誤ることがありますので、端子盤ユニットWU-Q55の後面コネクタを外してから試験を行ってください。

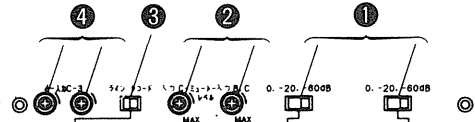
■ミキサーユニットWU-M60Aの調整

●入力レベルの調整

1. ねじ2本をはずし、記名台を取り外します。



2. 記名台の下にレベル切換スイッチと半固定音量調整器があります。

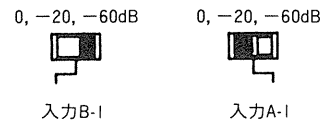


①入力A-1、B-1の入力レベルの切り換え

入力A-1、B-1の入力レベルを切り換えます。
マイクを接続したときは、-60dBにしてください。

調整範囲 0/-20/-60dB切り換え

出荷時 入力A-1 0dB 入力B-1 -60dB



②入力B.C、入力Cミュートレベルの調整

(☞応用システム編(別冊)「放送の優先順位」を参照)
時計方向に回すと、ミュート中のレベルが小さくなります。

調整範囲 ミュートなし～約50dBミュート

出荷時 入力B.C 50dB 入力C ミュートなし



③ライン/レコードの切り換え

入力C-2にレコードプレーヤ(MAG入力)を接続
するときはレコード側、ライン入力(-20dB)と
するときはライン側にします。



④入力C-3、C-4の入力音量を調整するとき

時計方向に回すと、レベルが大きくなります。

調整範囲 0～定格出力(定格入力レベル入力時)

出荷時 最大(時計方向に一杯回した状態)



定格・付属品

■定格 < >内WL-7600

電 源：AC100V 50/60Hz
寸 法：564(幅)×1465(高さ)×478(奥行)mm
<564(幅)×2000(高さ)×478(奥行)mm>
ユニット収納スペース：17U(ラック本体29U:1U=44.45mm)
<29U(ラック本体41U:1U=44.45mm)>
質 量：約70kg<約83kg>
仕 上 げ：筐体：OAアイボリー塗装鋼板
マンセル6.5Y7.8/0.9
近似色
パネル：AVアイボリー塗装鋼板
マンセル7.9Y6.8/0.8近似色
基台：黒色塗装

モニタユニット WU-M20

モニタスピーカ出力：1W
音 量：4段切換え
メ ー タ：4ポイントバーグラフLED4回路
入 力：100Vライン(電力増幅ユニットより供給)
ユ ニ ッ ト 寸 法：480(幅)×88(高さ)×64(奥行)mm 2U
質 量：約1.9kg

ミキサーユニット WU-M60A

電 源：AC100V 50/60Hz 5W(注)
DC24V 0.1A以下
入 力：
A-1 0/-20/-60dB 5k Ω 電子バランス
A-2 0dB(チャイム用) 5k Ω 電子バランス
B-1 0/-20/-60dB 5k Ω 電子バランス
B-2 0dB(リモコン用) 5k Ω 電子バランス
C-1 -20dB 20k Ω
C-2 -20/-58dB 20k Ω /MAGフォノ用
C-3 -20dB 20k Ω
C-4 -20dB 20k Ω
出 力：0dB 600 Ω 平衡×2
録 音 出 力：-10dB 10k Ω ×1
音 質 調 整：低音 100Hz \pm 10dB
高音 10kHz \pm 10dB
コ ー ル サ イ ン：WU-Z05(別売)
A M / F M チ ュ ー ナ：WU-T60(別売)
制 御 回 路：優先制御A
優先制御B、C
コールサイン制御
チューナ制御
電源制御
周 波 数 特 性：50Hz~20kHz \pm 3dB
ひ ず み 率：0.1%以下
ユ ニ ッ ト 寸 法：480(幅)×88(高さ)×200(奥行)mm 2U
質 量：約3kg

■付属品

PA2芯ケーブル.....1
束線バンド.....20
複式プラグ.....4
丸端子.....5
ラック取付ねじ 呼び径5×12 タッピング.....20

スピーカ選択ユニット WK-420

電 源：DC24V 150mA
スピーカ選択スイッチ：10局+一斉
スピーカ1回線あたり
の最大W数：50W
合 計 最 大 W 数：500W
電力増幅ユニット入力系統：2系統
ユ ニ ッ ト 寸 法：480(幅)×44(高さ)×250(奥行)mm 1U
質 量：約1.9kg

電源制御ユニット WU-L62

電 源：AC100V 50/60Hz
消 費 電 力(注)：約140W(DC3.6A出力時)
A C 電 源 出 力：AC100V最大38A
(A系統18AとB系統20Aの2系統)
D C 電 源 出 力：DC24V最大3.6A
非常用電源コンセント：×2 最大15A
A C 電 源 コ ン セ ン ト：×4 2系統(計8)
1個当たり15A 最大38A
内 部 PWR CONT 端 子：9ピンコネクター×2
外部制御(前面端子台)：PWR CONT、EMG24Vメイク/ブレイク切替
DC24V出力、COM、0V
外 部 PWR CONT 制 御：トランジスタ入力 耐電圧
DC30V 入力電流約1mA
外 部 E M G メ イ ク 制 御：トランジスタ入力 耐電圧
DC30V 入力電流約0.5mA
外 部 E M G ブ レ イ ク 制 御：トランジスタ入力 耐電圧
DC30V 入力電流約3mA
電 源 リ レ ー 動 作 時 間：ON A系統約40ms
B系統約80ms
OFF時：A系統約40ms
B系統約130ms
寸 法：480(幅)×44(高さ)×300(奥行)mm
(つまみなどの突起部含まず)、1U
質 量：約6.4kg
仕 上 げ：パネル AVアイボリー塗装鋼板
(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

端子盤ユニット WU-Q55

端 子 数：60端子
ユ ニ ッ ト 寸 法：480(幅)×132(高さ)×200(奥行)mm 3U
質 量：約2.6kg

(注)この表示は、電気用品安全法の技術基準に基づくものです。

端子台表示ラベル(WU-Q55用).....2
表示シール(WU-M20用).....2
表示シール(WK-420用).....3
設定表示ラベル(WK-420用).....1
ケーブル表示ラベル.....一式

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WL-7100, WL-7600
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

ブロードメディア本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410